

# 第二次上田市スポーツ推進計画（案）

令和 年 月

上田市・上田市教育委員会

# 目 次

第1章 第二次上田市スポーツ推進計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	3
4 本計画における「スポーツ」の範囲	4
第2章 上田市におけるスポーツ環境の現状と課題	5
1 上田市におけるスポーツを取り巻く環境	5
(1) 上田市の人口推移	5
(2) 市民の体力及び健康の状態	7
(3) 市民が考えるスポーツ活動	8
(4) 市民のスポーツ活動の実施状況	9
(5) 子どもの体力・運動能力とスポーツに対する意識	11
(6) スポーツ教室・スポーツ少年団への参加状況	13
(7) 一般財団法人 上田市体育協会	14
(8) 総合型地域スポーツクラブの会員数	14
(9) 国民体育大会出場者数の推移	15
(10) スポーツ競技国際大会等出場奨励金の推移	16
(11) スポーツ施設利用者数の推移	17
(12) 市民のスポーツ観戦状況	18
(13) 市民のスポーツに関するボランティア活動状況	19
(14) 長野国体等の認知度とかかわり方	20
(15) スポーツに関する情報	21
(16) 今後行いたいスポーツ	22
(17) 期待する上田市のスポーツ環境	23
(18) 上田市のスポーツ振興策	24
(19) 主なスポーツ大会等の開催実績	25
2 上田市におけるスポーツ環境の課題	26
(1) 生涯スポーツの振興	26
(2) 競技力の向上	26
(3) スポーツにかかわる人材育成とスポーツを支える地域づくり	27
(4) スポーツ施設の整備	27

第3章 計画の基本的な考え方	28
1 基本理念	28
2 基本目標	29
3 4つの視点	30
4 数値目標	31
5 第二次上田市スポーツ推進計画の体系図	32
第4章 具体的な施策	33
基本目標 1 生涯スポーツの振興	33
(1) だれもがスポーツに親しむ機会の充実	33
(2) 子どもたちの運動・スポーツの推進	35
(3) 働く世代・子育て世代等のスポーツの推進	36
(4) 高齢者スポーツの推進	37
(5) 障がい者スポーツの推進	38
(6) スポーツ情報の積極的な発信	39
基本目標 2 競技力の向上	40
(1) 長野国体等を見据えたアスリートの育成	40
(2) 競技環境の充実	41
基本目標 3 スポーツ施設の整備	42
(1) 適正配置と計画的な改修	42
(2) 将来を見据えた施設整備	43
(3) 施設の適正な管理運営	44
基本目標 4 スポーツを通じた地域づくりと交流拡大	45
(1) スポーツによる地域づくり	45
(2) スポーツによる交流の推進	46
(3) 地域資源を活用した交流拡大	47
第5章 計画の推進	48
1 連携・協働による推進体制	48
2 計画推進のための財源確保	50
3 計画の進捗管理	50
4 上田市のスポーツ推進に向けて	50

## 第1章 第二次上田市スポーツ推進計画の概要

### 1 計画策定の趣旨

近年の少子高齢化をはじめ、情報化社会の進展やグローバル化による移動・交流の活発化など、私たちを取り巻く社会環境は著しく変化しています。このような中、人々のライフスタイルも様々に変化しており、体力向上や健康づくりなどへの関心とともに、スポーツが果たす心身両面にわたる効果への期待がますます高まっています。

国では、スポーツ立国の実現を使命として、平成27年（2015年）10月に「スポーツ庁」が創設され、平成29年（2017年）3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など、多様な形での「スポーツ参画人口」の更なる拡大を図り、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創るという「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしています。

一方、長野県においても、令和10年（2028年）の第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会の開催を見据えながら、「スポーツを通じた元気な長野県」の実現を目指す、「第2次長野県スポーツ推進計画」が平成30年（2018年）3月に策定されています。

上田市では、“だれもが いつまでも スポーツに親しむことができる まちづくり”を基本理念に、「生涯スポーツ社会」の実現を目指し、平成23年（2011年）からの10年間にわたる具体的なスポーツ振興の指針となる「上田市スポーツ振興計画」を策定し、必要な施策の推進に努めてまいりました。

今回、この計画が最終年度を迎えたことから、今後の10年間において、更に「生涯スポーツ社会」の具現化に向けた施策の推進を図るための指針として「第二次上田市スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画は、ライフステージに応じたスポーツ施策を推進するとともに、スポーツを通じた心身の健康の保持増進と地域経済の活性化を推進し、併せて、市民に夢と感動をもたらす地域の活力を生む競技力の向上に努めるなど、スポーツによる魅力あるまちづくりに関係部局・団体等が一体となって取り組むための指針となるものです。

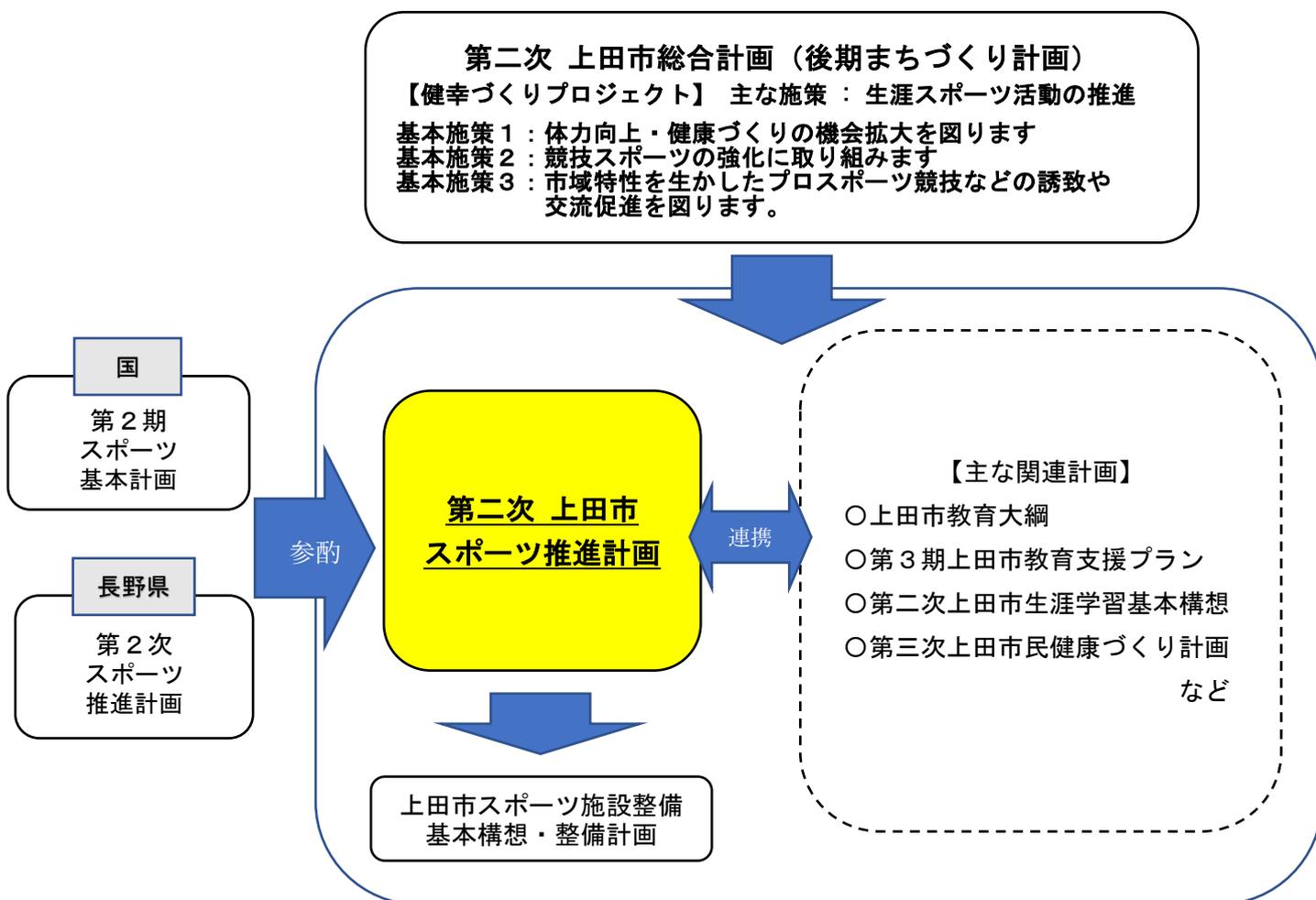
なお、上田市スポーツ振興計画は、本計画の第一次計画とみなし、「第一次上田市スポーツ推進計画」とします。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法（平成 23 年（2011 年）法律第 78 号）の第 10 条第 1 項の規定により、国のスポーツ基本計画及び県のスポーツ推進計画を参酌して、上田市の実情に即したスポーツの推進に関する計画「地方スポーツ推進計画」として定めるものです。

また、第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）の重点プロジェクトの一つである「健幸づくりプロジェクト」の主な施策に掲げる「生涯スポーツ活動の推進」を具現化するための個別計画としても位置づけるものです。

### ○本計画のイメージ

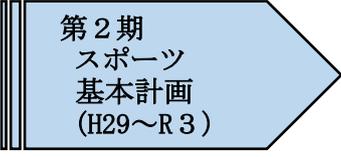
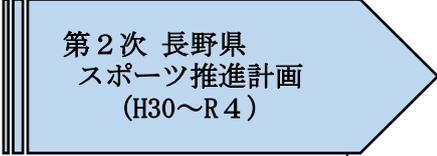
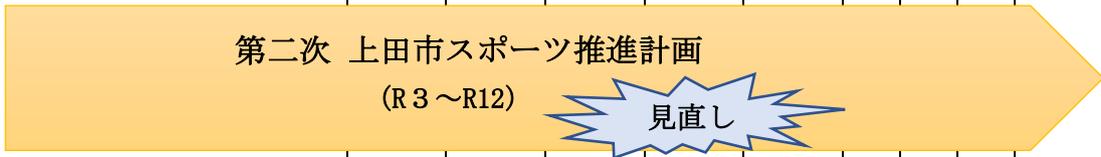
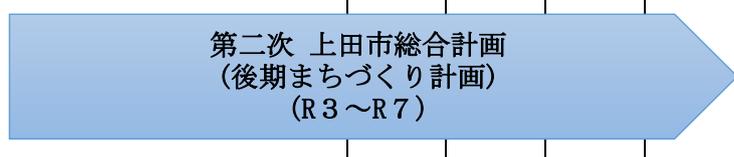


### 3 計画の期間

本計画の期間は、令和12年度（2030年度）を目標年度とする、令和3年度（2021年度）からの10年間とします。

しかし、本計画が参酌する国の「第2期スポーツ基本計画」は計画期間が令和3年度（2021年度）までであり、県の「第2次長野県スポーツ推進計画」も令和4年度（2022年度）までの前半5年間の計画となっています。

また、本計画の上位計画である「第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）」は、令和7年度（2025年度）までの後期5年間に市が目指す理想の将来都市像の実現に向けた具体的な施策を示していることから、国の新たな計画や県の後半5年間に取り組む施策を踏まえるとともに、市の新たな総合計画に掲げられるビジョンや施策を反映させるため、「第三次上田市総合計画」の策定に併せ、必要に応じて令和7年度（2025年度）中に本計画の見直しを行うものとします。

年度	令和3年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国										
県										
上田市										
										

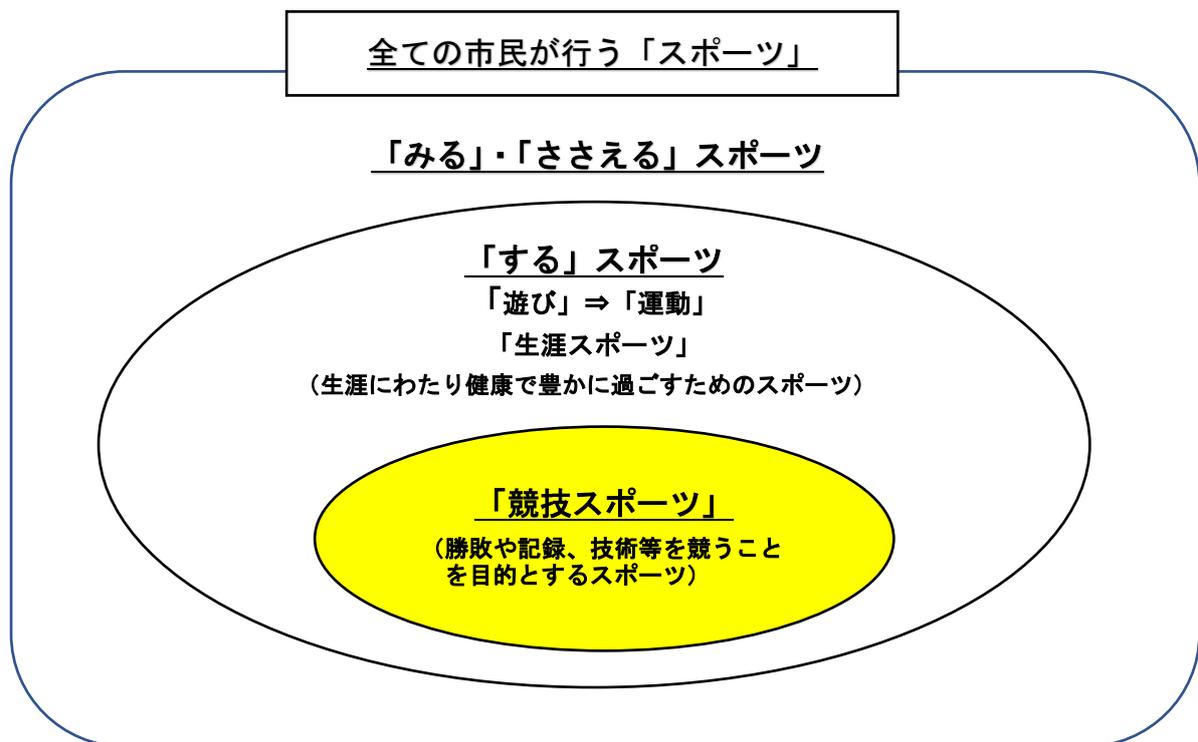
#### 4 本計画における「スポーツ」の範囲

本計画では、「スポーツ」の定義を幅広く捉えるとともに、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が行う「スポーツ」を対象とします。

「スポーツ」は、勝敗や記録を競い合う「競技スポーツ」だけでなく、ジョギングやウォーキング、レクリエーションなど、生涯にわたり健康で豊かに過ごすための「生涯スポーツ」や子どもの運動遊びに始まる、体や心の健康づくりや楽しみ、生活のために体を動かす「運動」も「スポーツ」の範囲として捉えます。

更に、自ら体を動かす「する」スポーツだけでなく、現地やテレビ等でスポーツを観戦する「みる」スポーツ、スポーツボランティアや指導・審判、イベントの手伝いなど、スポーツを「ささえる」活動も「スポーツ」の範囲に含まれるものとします。

#### ○本計画における「スポーツ」の範囲



## 第2章 上田市におけるスポーツ環境の現状と課題

### 1 上田市におけるスポーツを取り巻く環境

「第二次上田市スポーツ推進計画」の策定に当たり、上田市におけるスポーツを取り巻く環境とともに、今回実施した「上田市民のスポーツに関する市民アンケート」（以下「アンケート調査」という。）による調査結果から、市民のスポーツ活動やスポーツに対する意識や考え方等を把握し、今後の施策や事業に反映させるために整理しました。

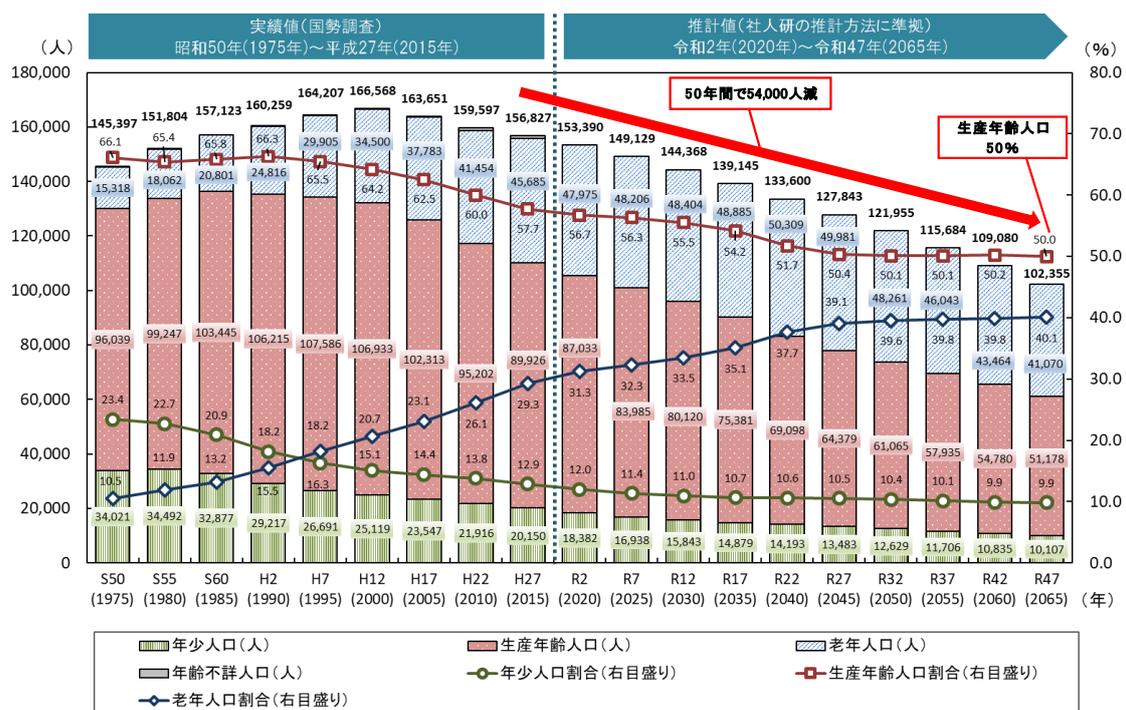
#### 【「上田市民のスポーツに関する市民アンケート」の概要】

調査の対象	市内在住の18～79歳の上田市民（1,500人を無作為抽出）
調査の方法	郵送による配布・回収
調査の期間	令和2年（2020年）4月11日から30日まで
回収状況	回収数：559票／配布数：1,500票（回収率：37.3%）

#### (1) 上田市の人口推移

- 上田市の人口は、平成12年（2000年）の166,568人をピークに減少に転じている
- 令和47年（2065年）には人口が102,355人にまで減少すると見込まれ、その際の人口構成は、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）が約50%、老年人口（65歳以上）が約40%、年少人口（15歳未満）が約10%と推計される

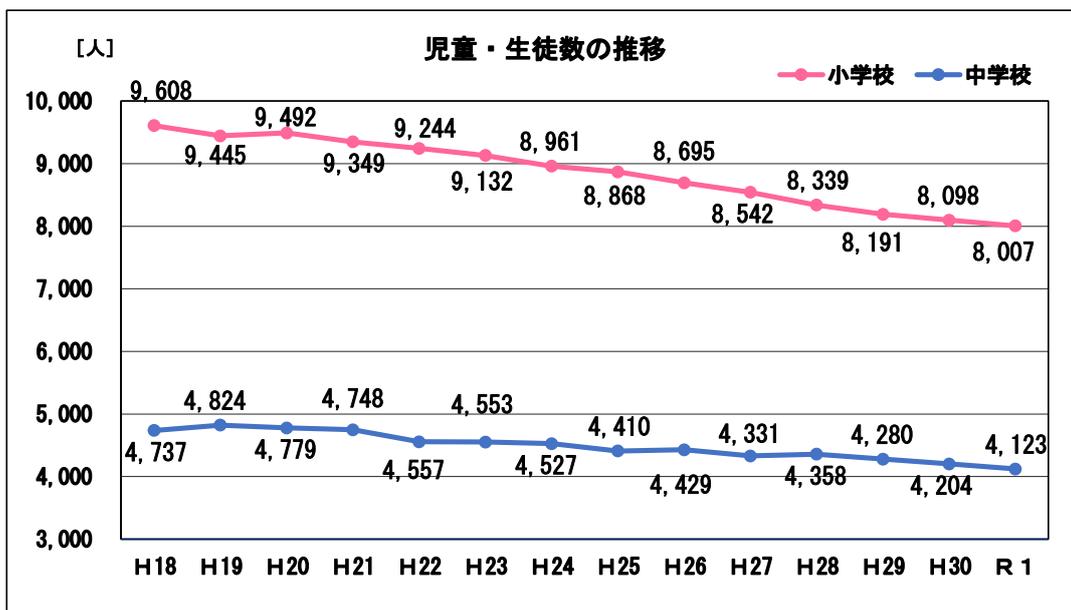
平成27年（2015年）に156,827人だった人口は、令和22年（2040年）には133,600人、令和47年（2065年）には102,355人まで減少すると推計され、20年間で、率にして約34.7%、54,000人余の減少が見込まれています。



(資料) S50(1975)～H27(2015)：総務省統計局「国勢調査」  
R2(2020)～R47(2065)：上田市にて推計(社人研の推計方法に準拠)

年齢構成別の人口推移をみると、昭和 55 年（1980 年）以降、年少人口（15 歳未満）は緩やかに減少しています。また、生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満）は平成 7 年（1995 年）までは増加していましたが、以降は減少しており、令和 27 年（2045 年）にかけて人口の約半分まで減少し、その後も約 50%で推移するものと推計されます。

一方、老年人口（65 歳以上）は人口減少社会の中、唯一増加の傾向にあり、平成 7 年（1995 年）には年少人口を上回っています。高齢化率は全国より 3 ポイントほど高い値で推移しており、令和 27 年（2045 年）にかけて約 39%まで上昇し、令和 47 年（2065 年）にかけて緩やかに約 40%まで増加するものと推計されています。



出典：上田市教育委員会

市内の児童・生徒数も年少人口と同様に、緩やかに減少しており、直近の 5 年間（平成 27 年度（2015 年度）と令和元年度（2019 年度）の比較）では、小学校で 535 人、中学校では 208 人の減少となっています。いずれも 1 クラスを 35 人と仮定すると、小学校で約 15 クラス、中学校では約 6 クラスが減ったことになります。

今後、更に高齢者の増加が見込まれる現在の状況において、体力の向上や健康の保持増進につながるとともに、人生をより豊かにするなど、市民の願いである健康づくりにスポーツは欠かせないものであり、全ての世代がスポーツに親しむことができる環境の整備・充実が一層重要と考えます。

## (2) 市民の体力及び健康の状態

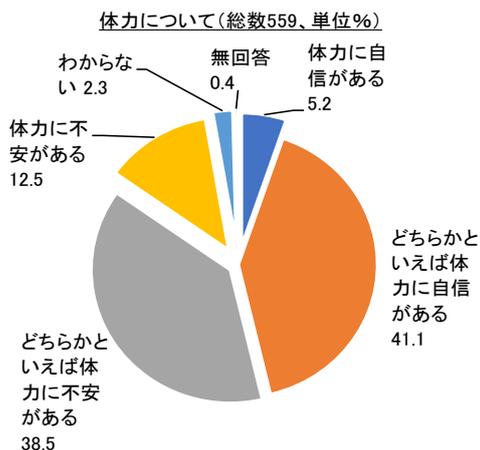
- 市民全体では、「体力に不安がある」と感じている人の方が、「体力に自信がある」と感じている人より多い
- 20代から30代にかけては、体力に不安を抱えている人の割合が増加している
- 8割以上の市民が「健康状態が良い」と感じている

自分の体力について「どちらかといえば体力に自信がある」の41.1%と、「どちらかといえば体力に不安がある」が38.5%で拮抗しており、全体的には、「体力に不安がある」と感じている人の方が、「体力に自信がある」と感じている人を4.7%上回っています。

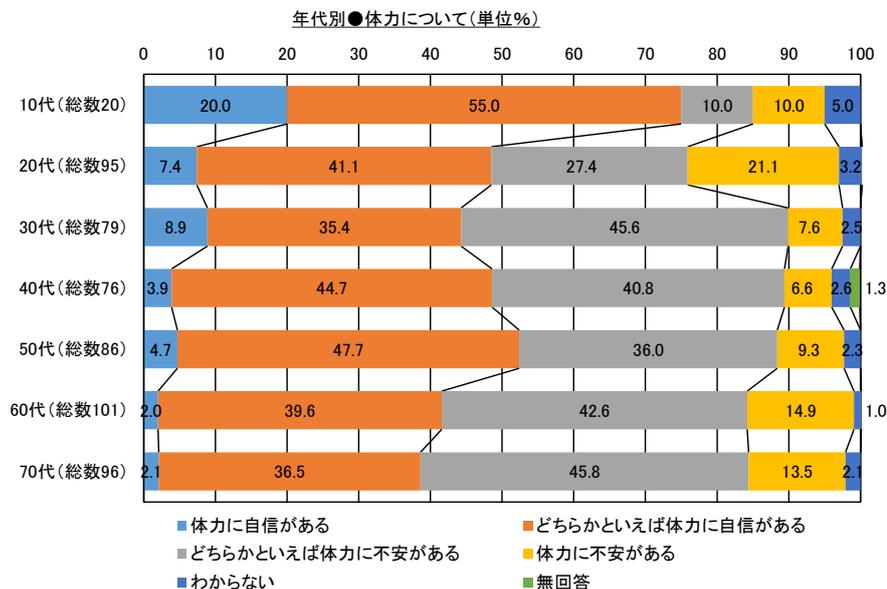
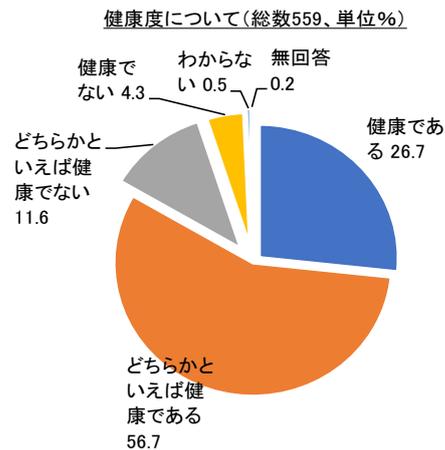
年代別では、「体力に不安がある」と感じている人が30代までは増加し、40代・50代では減少に転じますが、60代以上では再度増加しています。

また、自分の健康状態については、「どちらかといえば健康である」との回答が56.7%で最も多く、次いで「健康である」が26.7%、「どちらかといえば健康でない」が11.6%などとなっています。

■ あなたは、自分の体力についてどのように感じていますか？



■ あなたは、このところ健康ですか？



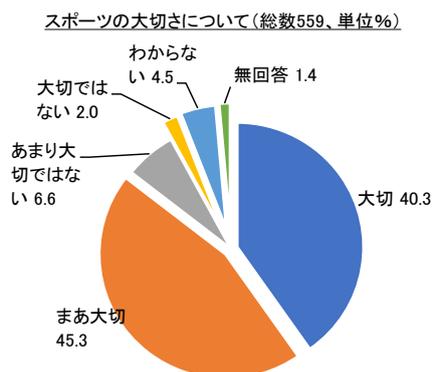
出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

### (3) 市民が考えるスポーツ活動

○ 8割以上の市民が「運動・スポーツは大切」と感じている

運動・スポーツ（以下「スポーツ」という。）について、「まあ大切」が45.3%で最も多く、次いで「大切」が40.3%、「あまり大切でない」が6.6%などとなっています。「まあ大切」と「大切」を合わせると85.6%もの方が大切と回答しています。

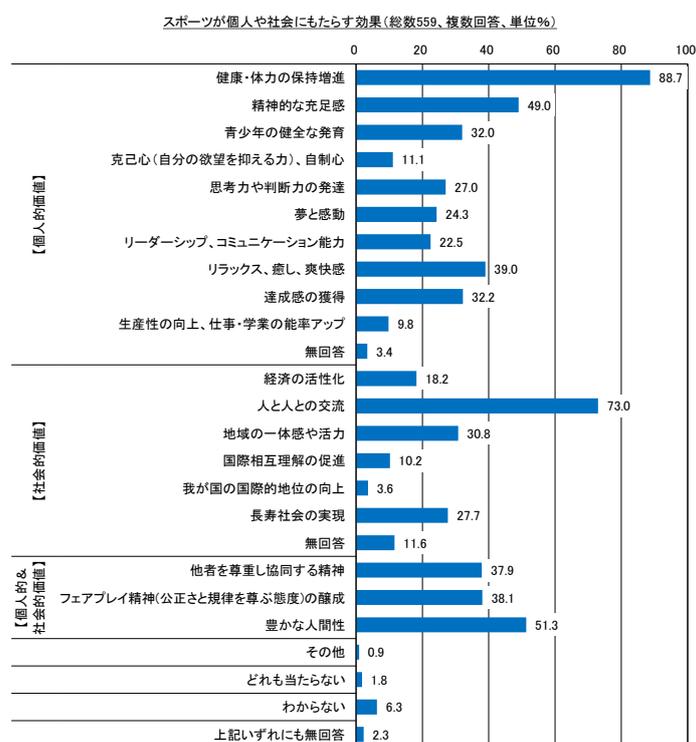
#### ■ あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか？



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

○ スポーツがもたらす効果について、「健康・体力の保持増進」との回答が最も多く、次いで「人と人との交流」、「豊かな人間性」、「精神的な充足感」などと思っている

#### ■ スポーツが個人や社会にもたらす効果について、あてはまるものはどれですか？



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

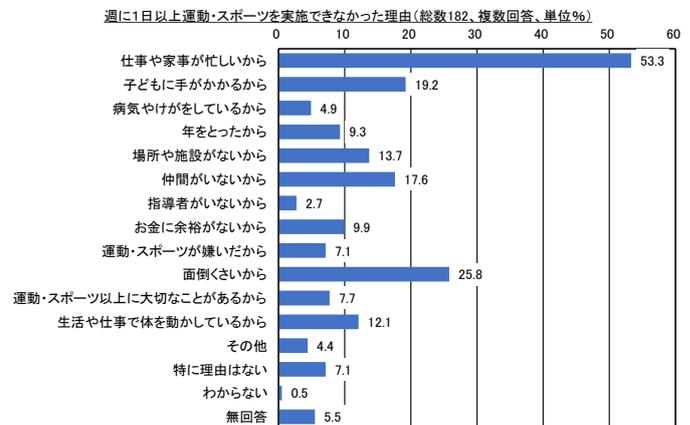
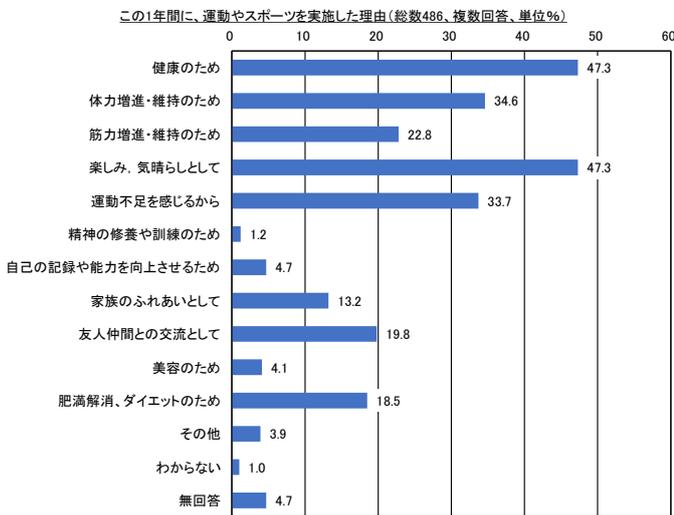


- スポーツを実施した理由は、「健康のため」、「楽しみ、気晴らしとして」、「体力増進・維持のため」、「運動不足を感じるから」などで、心身の健康に対する意識が高い
- 週に1日以上スポーツを実施できなかった理由は、「仕事や家事が忙しいから」、「面倒くさいから」、「子どもに手がかかるから」とする割合が多い

スポーツを実施した理由からは、市民の心身の健康に対する意識が高いことが読み取れます。

また、週に1日以上スポーツを実施できなかった理由は、「仕事や家事が忙しいから」や「面倒くさい」、「子どもに手がかかるから」などとなっており、「する」だけでなく、「みる」「ささえる」といった多様な形でスポーツへの参画を促す施策が必要です。

■ あなたがスポーツを実施したのはどんな理由からですか？ ■ 週1日以上、スポーツが実施できなかった理由は何ですか？



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

- 市民が取り組んでいるスポーツは、年齢を問わず「ウォーキング」が飛び抜けて多く、次いで「体操」、「トレーニング」など、気軽に取り組める運動・スポーツの割合が多い

■ あなたがこの1年間に行った運動やスポーツは何ですか？

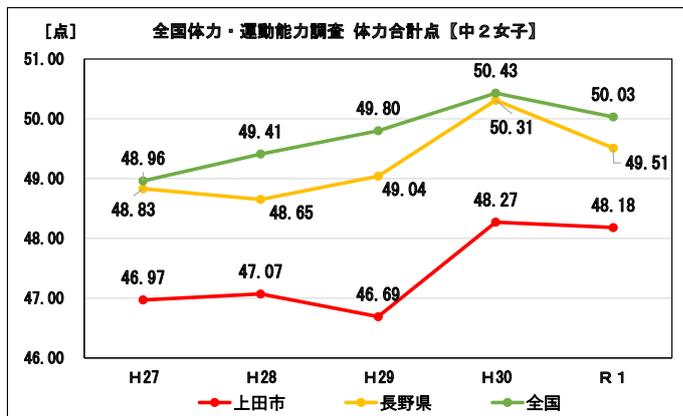
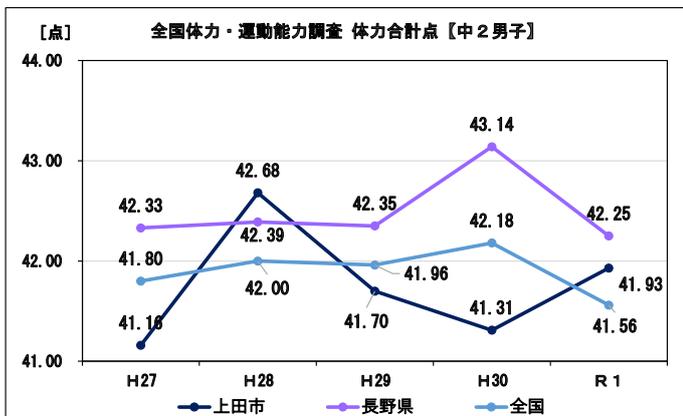
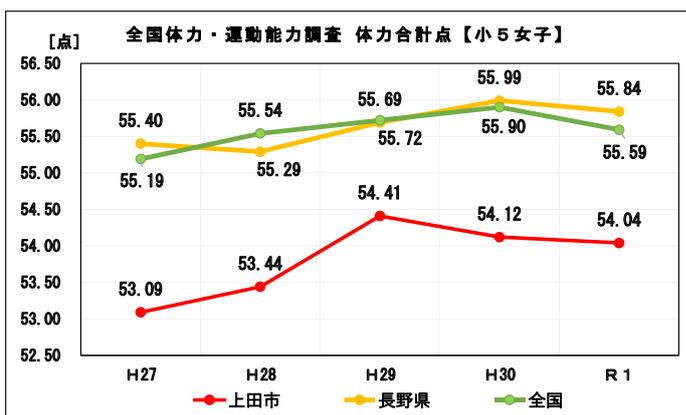
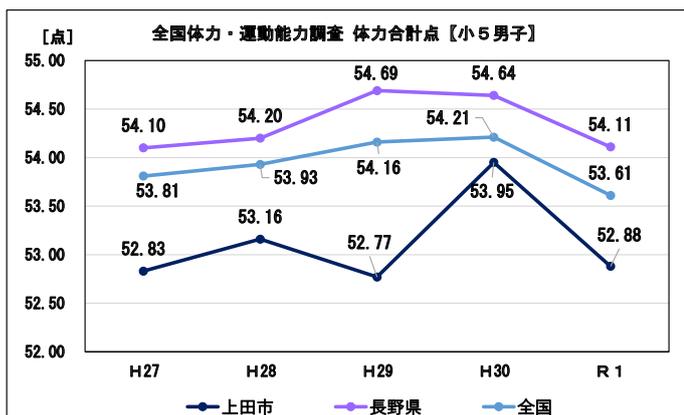
順位	スポーツ	割合 [%]	順位	スポーツ	割合 [%]
1	ウォーキング	56.8	6	ランニング・マラソン	10.4
2	体操(ラジオ体操等)	22.7	7	登山・トレッキング	9.8
3	トレーニング(器具等使用)	17.2	8	エアロビクス・ヨガ	9.5
4	自転車・サイクリング	13.4	9	ボウリング	8.6
5	階段昇降	11.8	10	ゴルフ(練習場)	7.9

(5) 子どもの体力・運動能力とスポーツに対する意識 ≪「する」スポーツ≫

- 小学校5年生男女及び中学校2年生女子の体力合計点は、全国及び長野県の平均値を下回っている
- スポーツに対する意識は、「スポーツが好き」と回答した割合は増加傾向にあり、全国や長野県と比較しても大きな差はない
- 中学校における運動部への加入率が低下している。一方、スポーツクラブ等への加入者が増加しており、スポーツクラブ等を含めた運動部への加入率はほぼ横ばいとなっている

全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）における上田市の児童・生徒の体力合計点は、小学校男女及び中学校女子が全国及び長野県の平均値を下回っています。中学校男子は、調査年により合計点に大きな差があり、直近の5か年中2か年で全国及び長野県の両者又は全国のみを上回っていますが、他の3か年は両者を下回っています。

小学生及び中学生の体力向上が喫緊の課題と考えられます。

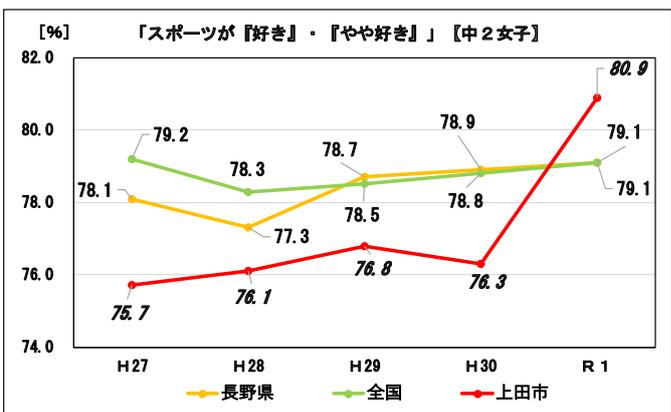
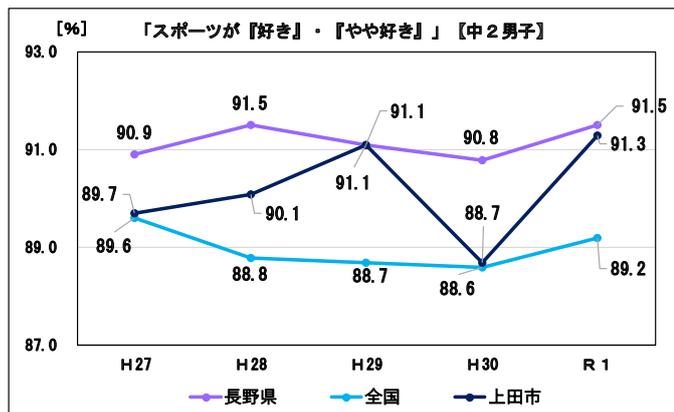
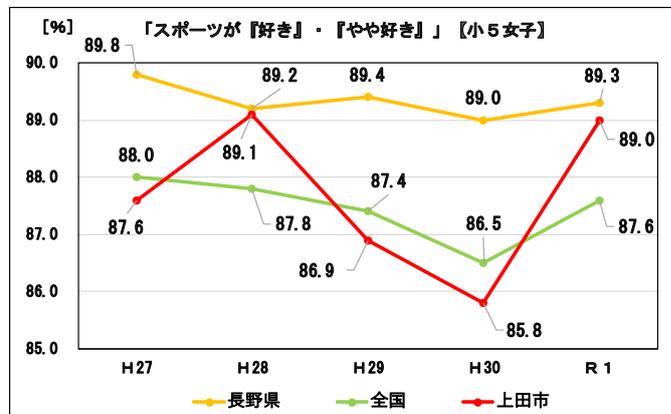
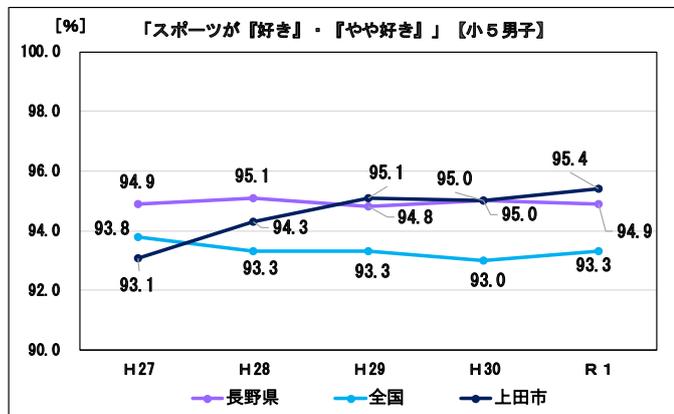


出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）・上田市教育委員会

体力合計点では全国や長野県の平均値を下回る状況ですが、スポーツに対する意識調査では、「スポーツが好き」「やや好き」と回答した児童・生徒の割合は、小学校及び中学校の男女、全てにおいて令和元年度(2019年度)は増加しています。

男子は、小学校で全国及び長野県を上回り、中学校も全国を上回り、ほぼ長野県と同等でした。

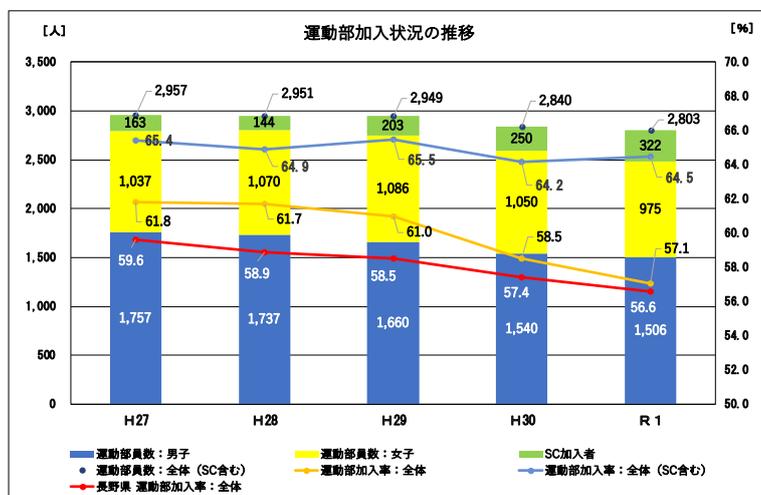
女子は、小学校が全国を上回り、長野県に並びかけており、中学校は全国及び長野県を上回っています。



出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）・上田市教育委員会

「スポーツが好き」な児童・生徒が多い状況を反映し、上田市における中学校での運動部への加入率は長野県の平均値を上回っています。

また、中学校での運動部への加入率が低下傾向の中、スポーツクラブ等への加入者は増加しており、スポーツクラブ等を含めた運動部への加入率は、ほぼ横ばいとなっており、地域スポーツにおけるスポーツクラブ等の担う役割、果たす効果が大きいことがわかります。

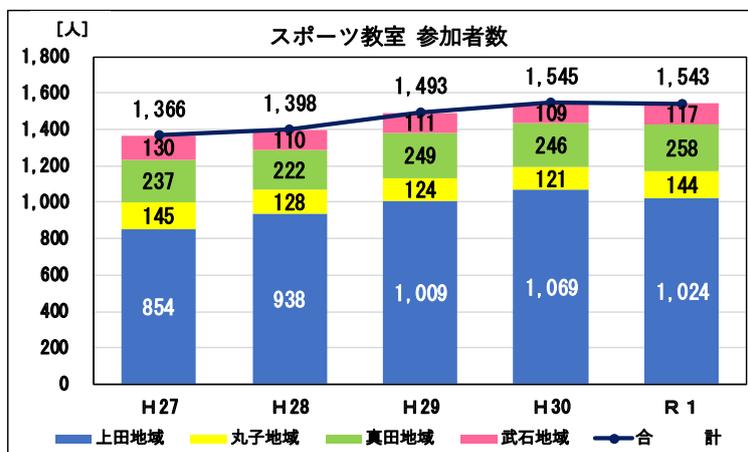


出典：上田市教育委員会

(6) スポーツ教室・スポーツ少年団への参加状況 ≪「する」スポーツ≫

○ スポーツ教室 : 43 教室開催 参加者 1,543 人 (令和元年度(2019 年度))

上田市では、幼児から成人まで幅広い世代を対象にスポーツ教室を開催しており、過去5年間のスポーツ教室への参加者数の推移をみると、平成29年(2017年)度までは増加しましたが、近年は1,500人程の参加で横ばいの状況です。

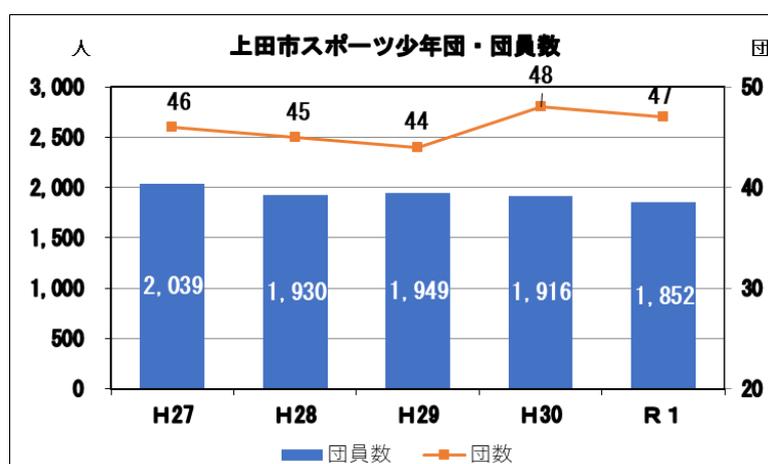


出典：上田市教育委員会

○ スポーツ少年団 : 47 団 団員数 1,852 人 (令和元年度(2019 年度))

上田市スポーツ少年団は、子どもが体を動かすことの楽しさや喜びを知り、スポーツを通じた健全育成を目的に創設されており、過去5年間の団数と団員数の推移をみると、団数は概ね横ばいの状況ですが、団員数は少子化の影響もあり187人減少しています。

今後は、市全域で活動の趣旨や内容等の周知に努め、団員数の増加を図り、生涯にわたりスポーツに親しむ基盤を作るとともに、スポーツ少年団が地域内の交流を活発にし、よりよい地域づくりにつながる活動が期待されます。



出典：上田市体育協会

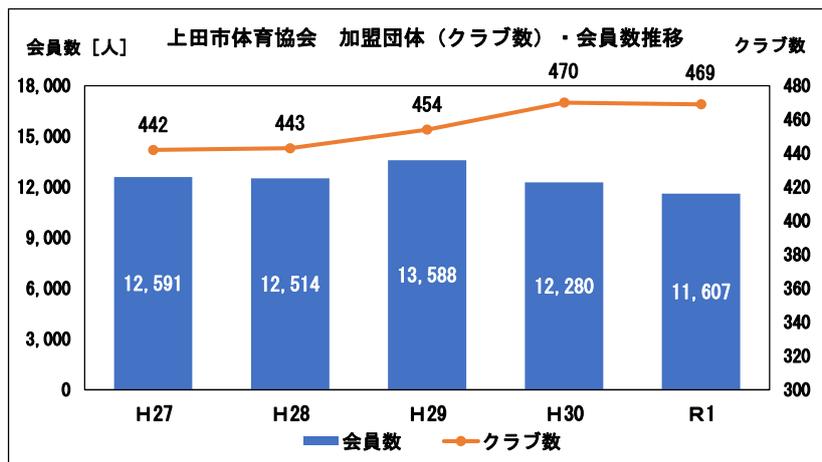
子どものころから体を動かすことの楽しさや喜びを感じる機会に出会う環境を整備することで、生涯を通じてスポーツに親しむ基礎を構築するとともに、競技志向や適正ある子どもを発掘し、競技者として育成する一貫した体制の強化により、競技力の向上にも努める必要があります。

(7) 一般財団法人 上田市体育協会 <<「する」・「ささえる」スポーツ>>

○ 上田市体育協会 : 41 団体・469 クラブ 会員数 11,607 人 (令和元年度(2019 年度))

一般財団法人上田市体育協会（以下「上田市体育協会」という。）は、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図ることを目的とした活動を行っており、過去5年間の推移をみると、会員数が984人減少する一方、クラブ数は27増加しています。

スポーツ活動の充実・推進に向けた行政との連携の核として、各スポーツ団体との調整や協働による大会及び教室の開催、スポーツ少年団の活動支援などを行い、健康で生涯にわたりスポーツに親しむことができるまちづくりの推進とともに、競技力の向上につながる積極的な活動が期待されています。



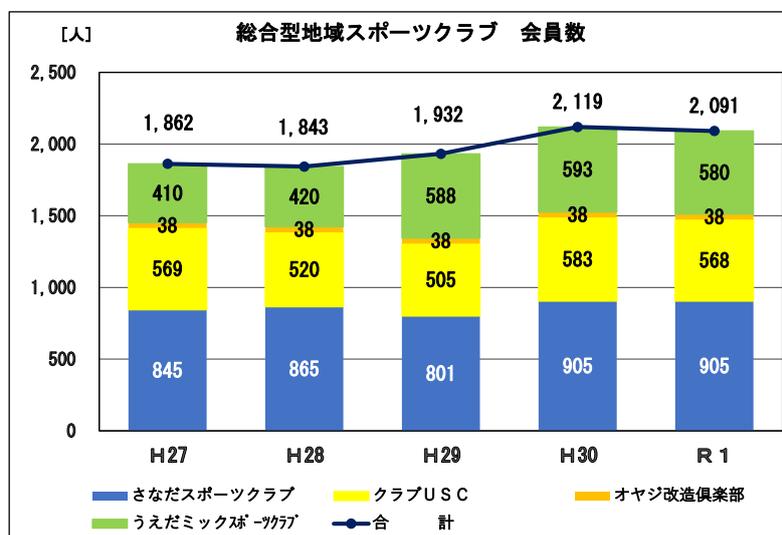
出典：上田市体育協会

(8) 総合型地域スポーツクラブの会員数 <<「する」・「ささえる」スポーツ>>

○ 総合型地域スポーツクラブ : 4クラブ 合計会員数 2,091 人 (令和元年度(2019 年度))

総合型地域スポーツクラブは、地域住民により自主的に運営されており、年代に関係なく多くの方が参加し、様々な種目のスポーツ活動が行われており、体力の保持増進や地域コミュニティを活性化する場として活動しています。会員数は、クラブにより大きな差異がありますが、概ね横ばいです。

積極的な広報活動により認知度を高め、新たな会員の獲得に努めるとともに、各クラブの質的な充実を図り、各地域でのスポーツに親しむ環境整備への貢献が期待されています。



出典：上田市教育委員会

(9) 国民体育大会出場者数の推移 《「する」スポーツ》

○ 国民体育大会への出場者数は、冬季大会・本大会ともに減少傾向

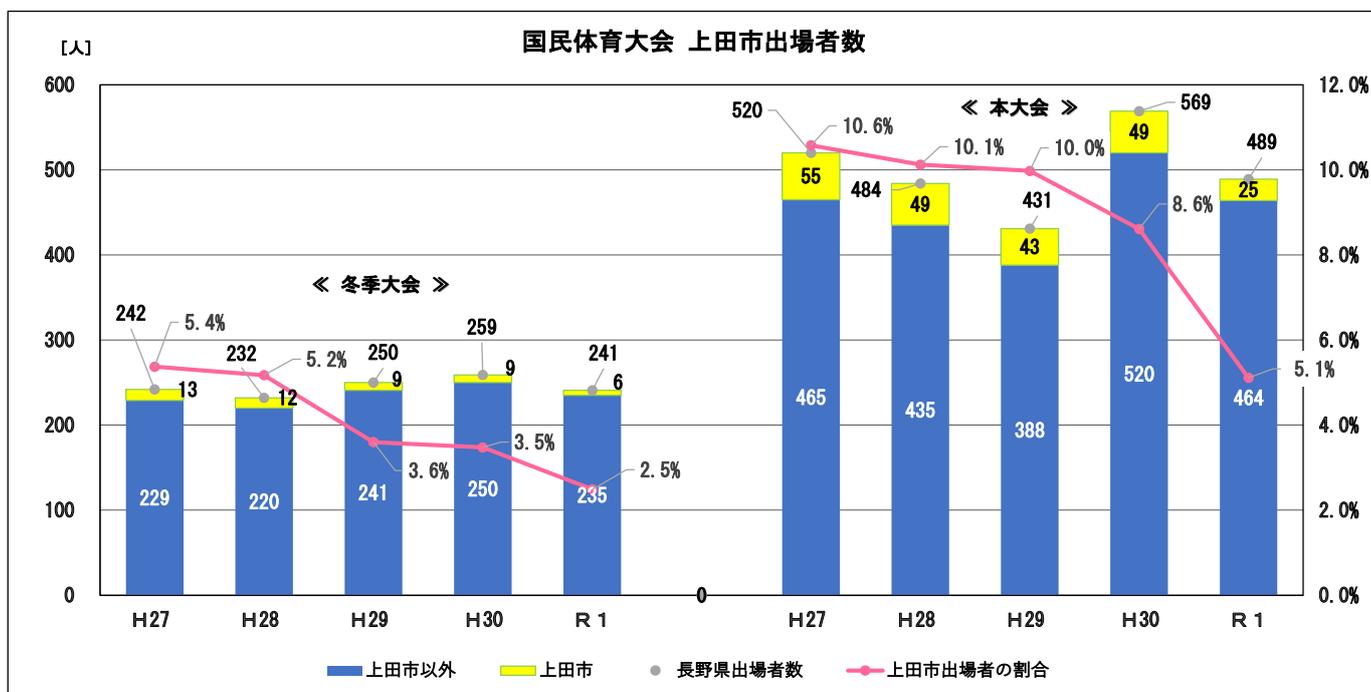
毎年開催される国内最大のスポーツの祭典「国民体育大会」は、実施競技により冬季大会と本大会が開催されており、上田市からも両大会に選手等が出場しています。

過去5年間の国民体育大会への出場者数は、冬季大会及び本大会ともに減少傾向にあり、長野県勢における上田市出場者の割合も減少しています。

今後は、各競技において将来性ある人材の発掘や一貫した指導体制の確立、練習環境の整備などが必要です。

また、スポーツ医・科学分野から選手を支える体制の整備も求められており、関係機関や団体等との連携により、競技者や指導者を育てる環境づくりも進める必要があります。

いずれにしても、上田市のスポーツ振興に向けた、競技力の向上が求められています。



出典：上田市体育協会

(10) スポーツ競技国際大会等出場奨励金の推移 ≪「する」・「ささえる」スポーツ≫

- スポーツ競技の国際大会や全国大会に出場する個人及び団体に対して奨励金を交付しており、国際大会等への出場を財政面から支援している

国際大会への出場者数の増減などに伴い、年度間での奨励金の合計額に変動はありますが、例年、多くの個人・団体に交付しており、奨励金を交付することで、競技力の向上、スポーツの振興及び市民のスポーツ活動に対する意識の高揚に努めています。

○ 上田市スポーツ競技国際大会等出場奨励金交付状況

年度	項目	交付件数	競技数 対象団体・人数	主な出場競技会	奨励金合計額
令和元年度		36件	17競技 6団体(90人) 個人:64人	IASF SUMMIT DEVISION 2019(チアリーディング:アメリカ)	1,070,000 円
				全国大学弓道選抜大会	
				全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス・レスリング他)	
				全日本実業団選手権大会(ソフトテニス)	
				国民体育大会(グランドゴルフ)	
				日本スポーツマスターズ2019ソフトボール競技会	
				天皇賜杯全日本軟式野球大会	
				JA共催杯全日本リトルリーグ野球選手権大会	
日本学生氷上競技選手権大会(アイスホッケー)	ほか				
平成30年度		48件	16競技 13団体(184人) 個人:70人	全国ママさんバレーボール大会	1,135,000 円
				全国高等学校総合体育大会(レスリング・バレーボール他)	
				全日本リトルリーグ野球選手権大会	
				全国中学生都道府県対抗野球大会	
				全日本早起き野球大会	
				World Junior Curling Championships 2019(カーリング:カナダ)	
				United spirit association Cheerleading Championship 2019 (チアリーディング:千葉県)	
平成29年度		28件	15競技 7団体(120人) 個人:70人	全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス・レスリング他)	1,485,000 円
				全日本実業ソフトボール大会	
				2017 U.S. Open Club Ultimate Championships	
				全国社会人サッカー選手権大会	
				日本学生氷上競技選手権大会(アイスホッケー)	
				全国高等学校サッカー選手権大会	
				平昌冬季オリンピック競技大会(スノーボード・スキージャンプ)	
United spirit association Cheerleading Championship 2018 (チアリーディング:千葉県)	ほか				
平成28年度		34件	16競技 11団体(160人) 個人:88人	OPTIMST U18 INTERNATIONAL CURLING CHAMPIONSHIPS	2,135,000 円
				The SUMMIT VARSITY ALL STAR CHEERLEADING CHAMPIONSHIP (チアリーディング:アメリカ)	
				全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス・レスリング他)	
				全日本大学フットサル大会	
				全国高等学校定時制通信制軟式野球大会	
				日本リトルシニア中学野球協会 日本選手権大会	
				全国高等学校柔道選手権大会	
				United spirit association Cheerleading Championship 2017 (チアリーディング:千葉県)	
平成27年度		29件	15競技 9団体(175人) 個人:59人	全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス・レスリング他)	10,690,000 円
				全国高等学校野球選手権大会	
				日本選手権大会(少年野球)	
				全国クラブチームサッカー選手権大会	
				少林寺拳法	
				全日本女子総合選手権全国大会(ドッジボール)	
				United spirit association Cheerleading Championship 2016 (チアリーディング:千葉県)	

出典：上田市教育委員会

## (11) スポーツ施設利用者数の推移 《「する」・「みる」・「ささえる」スポーツ》

○ スポーツ施設の利用者数は減少傾向

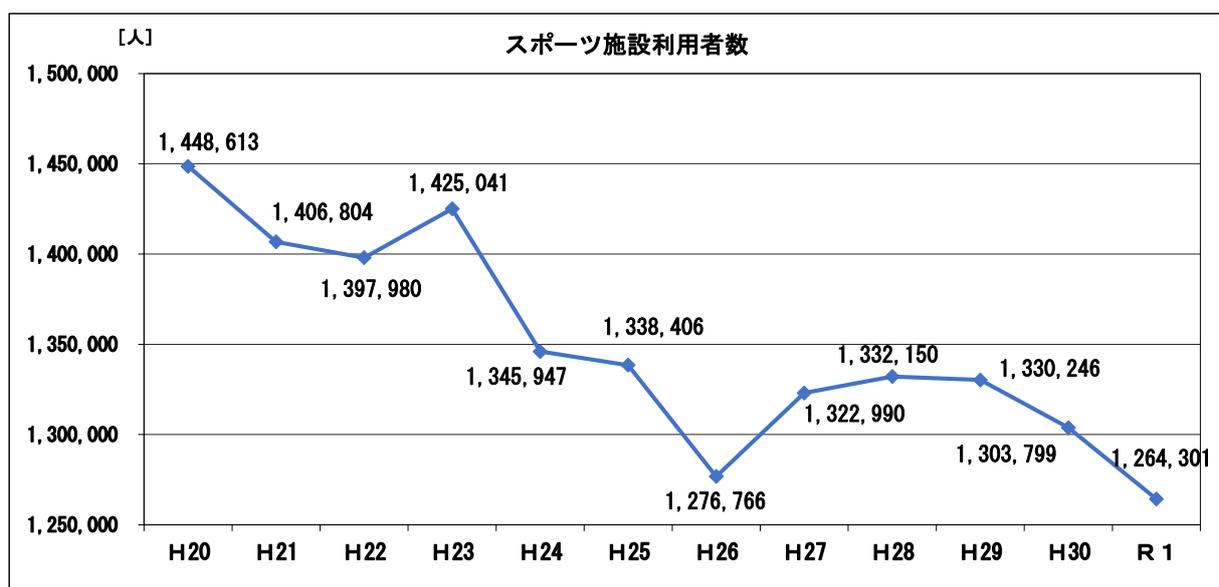
上田市には、グラウンドや体育館、プール、テニスコートの他、市民の森公園内のスケート場や馬術場、自然運動公園内のアーチェリー場など、多くのスポーツ施設等が設置されています。

特徴あるスポーツ施設としては、菅平高原の冷涼な気候や環境を生かし、約 18.5 ha の敷地に 5 面の多目的芝生グラウンドと第 3 種公認の全天候型陸上競技場などを有する総合運動公園施設「菅平高原スポーツランド（愛称：サニアパーク菅平）」が整備されています。

各スポーツ施設は、夜間や休日などを中心に多くの市民に利用されており、希望する日時に利用予約がなかなか取れない状況にあることから、より多く市民のスポーツに親しむ機会を確保できるよう、学校体育施設の開放にも積極的に取り組んでいます。

スポーツ施設の利用者数の減少傾向については、少子高齢化の進行による競技人口の減少とともに、市民のスポーツに対する嗜好が、大勢で競い楽しむ団体スポーツからジョギングやウォーキングなど個人で楽しむスポーツに移行していることが推察されます。

また、あらかじめスポーツ施設を予約して利用する煩わしさが不人気で、手軽にいつでも気が向いたときにスポーツができる環境が求められていることなども一因と考えられます。



出典：上田市教育委員会

## (12) 市民のスポーツ観戦状況 《「みる」スポーツ》

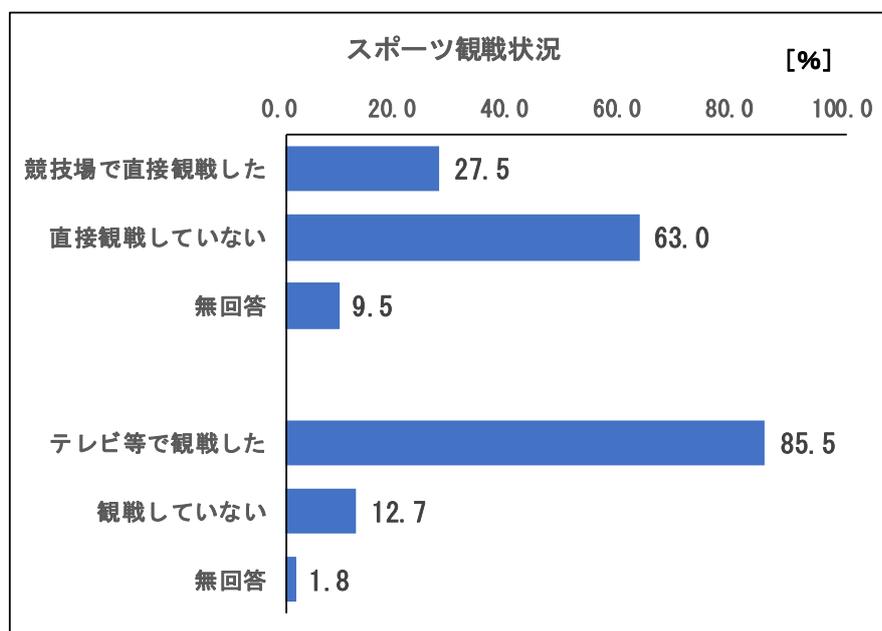
- 直接現地でスポーツを観戦した市民は3割未満
- テレビ等では8割以上もの市民がスポーツを観戦している

この1年間に市民が競技場等、直接現地で観戦したスポーツは、「プロ野球」が8.9%、「高校野球」が7.5%、「Jリーグ」が3.6%などです。

一方、テレビやインターネットでの観戦では、「高校野球」が47.9%で最も多く、次いで「マラソン・駅伝」が44.9%、「大相撲」が44.2%などとなっています。

また、令和元年のラグビーワールドカップ2019日本大会の開催によるラグビー人気を反映して、「ラグビー」の観戦率が38.8%と高い状況でした。

「みる」ことでスポーツは人々に感動を与え、スポーツへの関心を高め、市民のスポーツ実施意欲を向上させる効果が期待できることから、今後、一層「みる」スポーツの環境整備を推進する必要があります。



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

(13) 市民のスポーツに関するボランティア活動状況 《「ささえる」スポーツ》

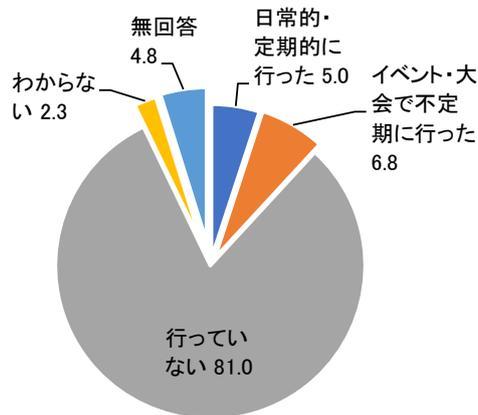
- 8割以上の市民がスポーツに関するボランティア活動を行っていない
- ボランティア活動を行っている年代に偏り（40代：30.3%、10代：15.0%、30代：12.7%）がある

この1年間に市民が行ったスポーツに関するボランティア活動は、40代が30.3%で飛び抜けて多く、次いで10代が15.0%、30代が12.7%となっています。

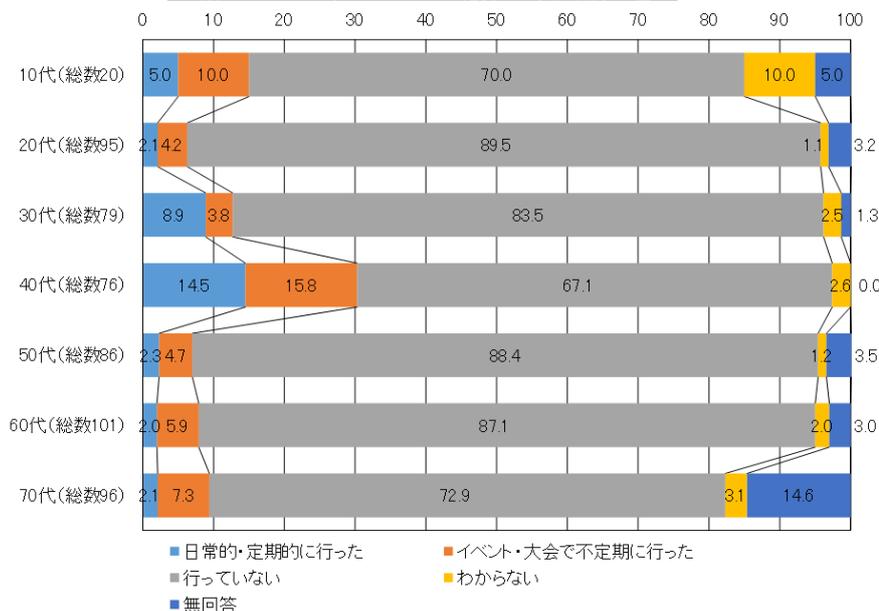
超高齢社会が進行する中、高齢者をはじめとする市民の生きがいに大会ボランティアへの参加や応援など、「ささえる」スポーツは有効と考えます。様々な形でスポーツ活動へ参画できる環境整備が必要です。

■ この1年間に、運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか？

スポーツに関するボランティア活動への参加状況(総数559、単位%)



年代別●スポーツに関するボランティア活動への参加状況(単位%)



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

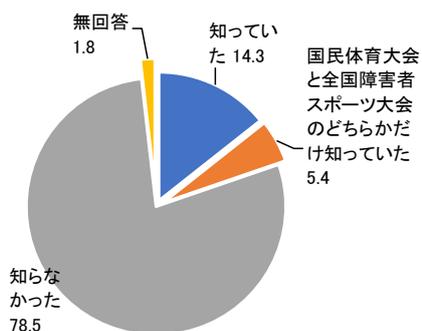
(14) 長野国体等の認知度とかかわり方 《「する」・「みる」・「ささえる」スポーツ》

- 令和 10 年（2028 年）に長野県で開催予定の第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会について、8 割近くの市民が知らなかった
- これらの大会開催に当たり、約 7 割の市民が会場又はテレビ等で観戦したい意向がある

令和 10 年（2028 年）に長野県で開催が予定されている第 82 回国民体育大・第 27 回全国障害者スポーツ大会への参加について、「テレビ等で観戦したい」が 42.0%で最も多く、次いで「会場で観戦したい」が 27.9%、「ボランティアで運営協力したい」が 7.9%などとなっています。

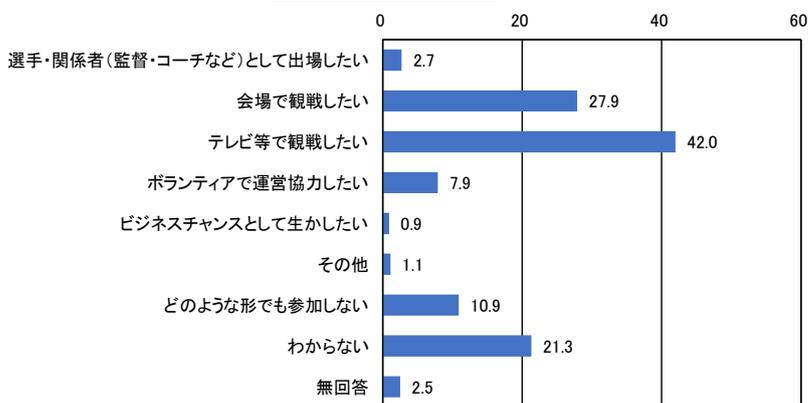
■あなたは長野国体等の開催を知っていましたか？

長野国体開催の認知度(総数559、単位%)



■あなたは長野国体等の開催に当たり、どのような形で参加したいですか？

長野国体等の開催に当たり、参加したい形についての意向  
(総数559、複数回答、単位%)



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

(15) スポーツに関する情報 ≪「する」・「みる」・「ささえる」スポーツ≫

- スポーツに関する情報の主な入手先は、「広報うえだ」43.1%、「友人や知人」30.6%、「ポスター・チラシ」21.6%、「回覧板」19.9%
- 求められている主な情報は、「スポーツができる場所や施設の情報」45.3%、「スポーツ行事・大会やイベントの情報」35.2%、「スポーツクラブや団体、同好会等の情報」21.5%

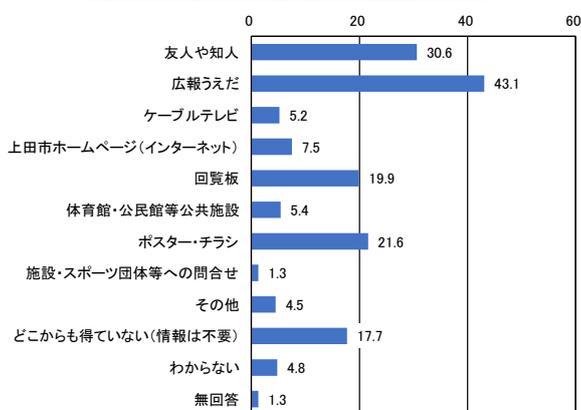
スポーツに関する情報の入手先として「広報うえだ」が飛び抜けて利用されており、市民への広報の周知力の高さをうかがい知ることができます。

また、今後は「上田市ホームページ（インターネット）」の利用が多くなるものと推測されます。

スポーツに参画する市民を増やすためには、求められる情報を多様な手段を活用し、タイムリーに発信することが重要と考えます。

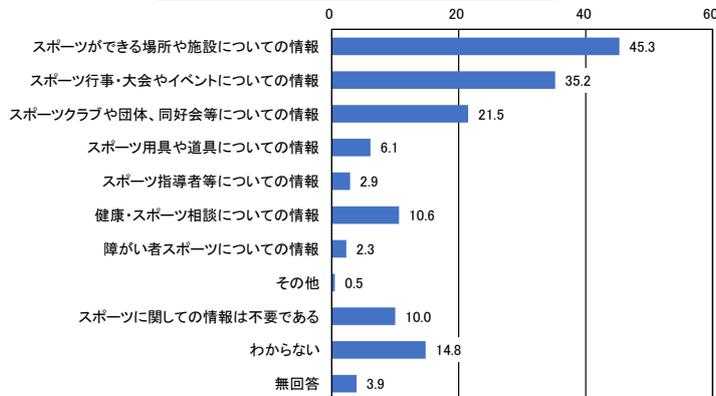
■ スポーツに関する情報はどこから得ていますか？

スポーツに関する情報の入手先(総数559、複数回答、単位%)



■ スポーツに関してどのような情報入手したいですか？

スポーツに関して入手したい情報(総数559、複数回答、単位%)



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

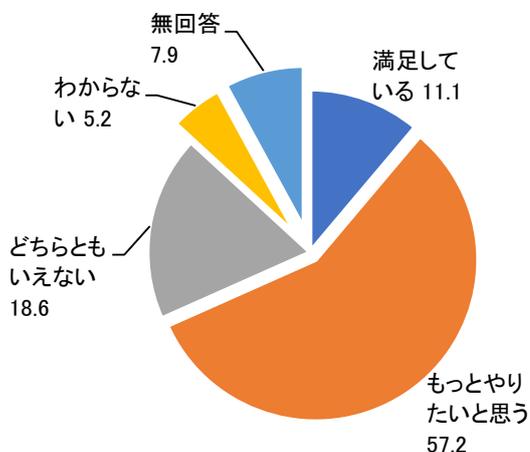
(16) 今後行いたいスポーツ 《「する」スポーツ》

- 市民の半数以上が「スポーツをもっとやりたい」と思っている
- 今後、始めてみたいスポーツの上位は、「ウォーキング」23.8%、「エアロビクス・ヨガ」14.8%、「トレーニング（運動器具等使用）」14.1%

スポーツに対して、「もっとやりたいと思う」という前向きな意欲を持った市民が多いことを示しており、スポーツ環境の整備が求められています。

■ あなたは現在の運動・スポーツの実施頻度に満足していますか？

運動・スポーツ実施頻度の満足度  
(総数559、単位%)



今後、始めてみたいスポーツは、大人数で実施する団体スポーツでなく、個人が身一つで手軽に始められるスポーツが多くなっています。

■ 今後あなたが始めてみたい運動やスポーツは何ですか？

順位	スポーツ	割合 [%]	順位	スポーツ	割合 [%]
1	ウォーキング	23.8	6	登山・トレッキング	9.1
2	エアロビクス・ヨガ	14.8	7	水泳	8.8
3	トレーニング（器具等使用）	14.1	8	体操（ラジオ体操等）	7.9
4	バドミントン	10.0	9	ダンス（フォーク・ジャズ等）	7.3
5	自転車・サイクリング	9.3	10	キャンプ・オートキャンプ	6.8

出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

(17) 期待する上田市のスポーツ環境 <<「する」・「みる」・「ささえる」スポーツ>>

- 上田市のスポーツ環境について、多くの市民が「整っているとは感じていない」46.0%と回答
- 設置を希望するスポーツ施設の上位は、「ウォーキングコース」21.3%、「屋内運動場」13.1%、「トレーニングルーム」12.9%
- スポーツ施設に望むことの上位は、「身近で利用できるよう施設数の増加」41.0%、「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」24.3%「利用の手続き、料金の支払い方法などの簡略化」19.7%

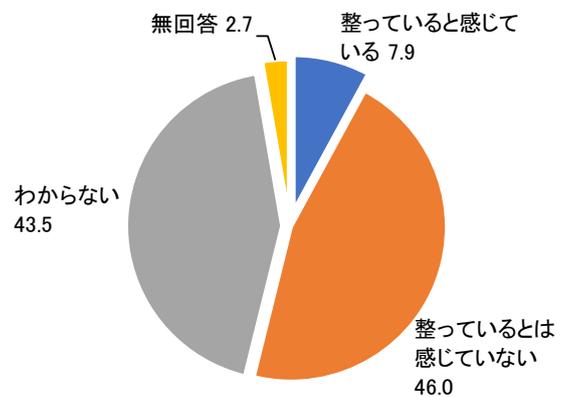
現在の上田市のスポーツ環境（スポーツ施設・大会・教室等）について、「わからない」との回答が43.5%もあり、市民へのスポーツ環境の周知とともに、スポーツへの関心を高めるための施策が大きな課題と考えられます。

設置を希望するスポーツ施設は、団体や集団でのスポーツではなく、個人が一人で行うことのできるスポーツ環境の整備などが求められています。

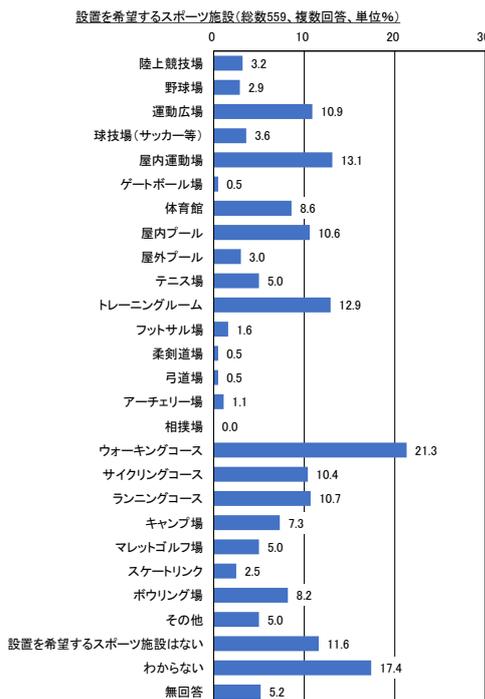
また、スポーツ施設に望むことは、「身近で利用できるよう施設数の増加」が41.0%で最も多く、次いで「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」が24.3%、「利用の手続き、料金の支払い方法などの簡略化」が19.7%、「利用時間帯の拡大」が12.9%、「施設使用料の引き下げ」が12.5%などとなっています。

■上田市のスポーツ環境（スポーツ施設・大会・教室等）は整っていると感じていますか？

上田市のスポーツ環境について  
(総数559, 単位%)



■設置を希望するスポーツ施設があれば教えてください。



■市のスポーツ施設に望むことがあれば教えてください。



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

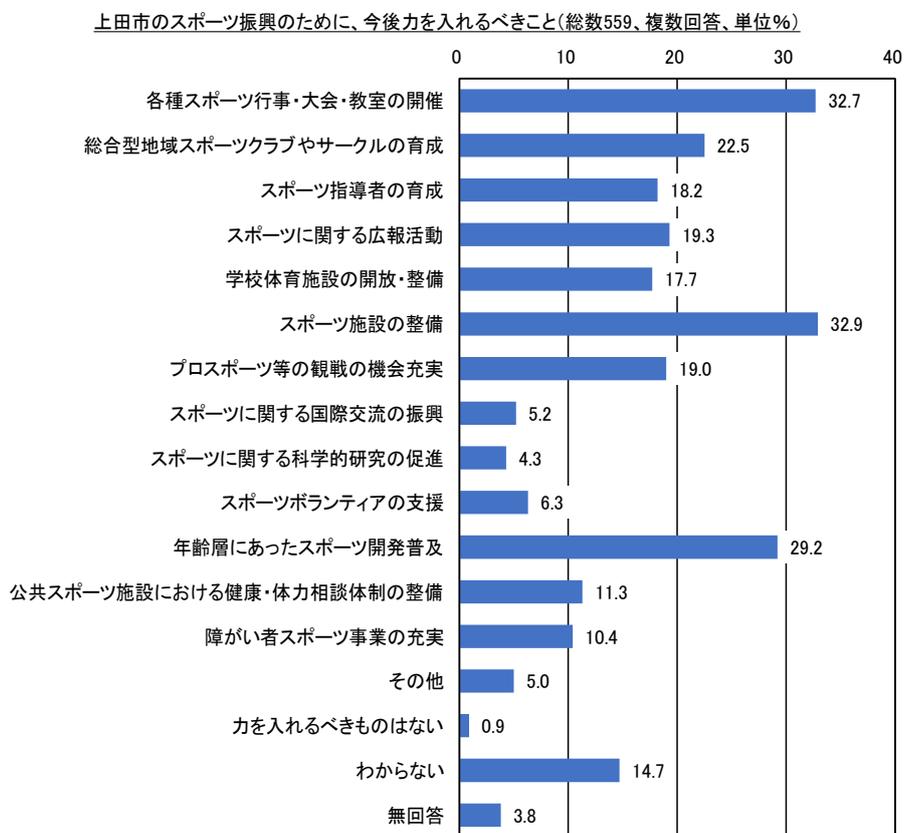
(18) 上田市のスポーツ振興策 《「する」・「みる」・「ささえる」スポーツ》

○ 今後、力を入れるべきスポーツ振興策の上位は、「スポーツ施設の整備」32.9%、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」32.7%、「年齢層にあったスポーツ開発普及」29.2%

上田市のスポーツをもっと振興させるために、今後、力を入れるべき事項からは、市内に多くある老朽化したスポーツ施設の計画的な整備を進めるとともに、市民の要望に対応したソフト事業の実施が求められていることが読み取れます。

引き続きハード・ソフト両面にわたるスポーツ振興策の推進に努める必要があると考えられます。

■ 上田市のスポーツをもっと振興させるために、今後どのようなことに力を入れるべきですか？



出典：上田市民のスポーツに関する市民アンケート

(19) 主なスポーツ大会等の開催実績 《「する」・「みる」・「ささえる」スポーツ》

○ 市が主催するマラソン・駅伝大会のほか、近年では全国大会などの大規模スポーツ大会や合宿・キャンプが開催されている

上田市では、年間を通して様々なスポーツ大会やイベント等を開催しており、各スポーツ団体と連携し、市民が自ら多様なスポーツに親しむ機会の拡大に努めています。

「する」スポーツだけでなく、トップアスリートの高い技術に触れることのできる「みる」スポーツや、大会・イベントの企画運営、ボランティアに参加する「ささえる」スポーツなど、市民が様々な形でスポーツに参画する機会の拡充を図り、地域の活性化にも取り組んでいます。

○ 大会等開催実績

年度	大会名	年度	大会名
令和元年度	太郎山登山競争	平成二九年度	太郎山登山競争
	第31回全日本生涯野球大会		第10回菅平スカイライントレイルランレース & アウトドアフェスタ
	第12回スカイライントレイル菅平		第22回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会
	信州爆水Run in 依田川		信州爆水Run in 依田川
	第42回全日本大学軟式野球選手権大会		第40回全日本大学軟式野球選手権大会
	関東大学ラグビー開幕戦		上田古戦場ハーフマラソン
	RWCイタリア代表チームトレーニングキャンプ		ともしびの里駅伝大会
	北信越地区高等学校野球長野県大会		第70回中部日本バドミントン選手権大会
	FIS菅平高原マックアースパインピークカップ ほか		FIS菅平高原マックアースパインピークカップ ほか
平成三〇年度	太郎山登山競争	平成二八年度	太郎山登山競走
	RWCイタリア代表チームトレーニングキャンプ		上田古戦場ハーフマラソン
	第11回スカイライントレイル菅平		信州爆水Run in 依田川
	第23回長野県少年・少女柔道チャンピオン大会		ともしびの里駅伝大会
	信州爆水Run in 依田川		2017マックアースパインピークカップ 菅平高原ユース選手権大会 ほか
	第41回全日本大学軟式野球選手権大会	平成二七年度	第1回太郎山登山競走
	上田古戦場ハーフマラソン		上田古戦場ハーフマラソン
	ともしびの里駅伝大会		信州爆水Run in 依田川
	FIS菅平高原マックアースパインピークカップ ほか		ともしびの里駅伝大会 ほか

出典：上田市教育委員会

## 2 上田市におけるスポーツ環境の課題

第二次上田市総合計画に掲げる「生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備」を具現化し、具体的な施策の立案に生かすため、第一次上田市スポーツ推進計画に掲げた基本目標ごとに課題を整理しました。

### (1) 生涯スポーツの振興

- ア 市民のスポーツ活動状況(成人が週1日以上及び週3日以上スポーツ活動を行っている割合)は、長野県や全国の値を下回っていることから、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、だれもがいつまでも気軽にスポーツに親しめる機会の提供や指導者の確保・育成に取り組み、市民の体力の向上や健康づくりに努める必要があります。
- イ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、上田市の児童・生徒の体力が全国や長野県の平均値と比べて下回っていることから、子どもたちの体力向上に向けた取組が必要です。
- ウ 超高齢社会が進行する中、スポーツは健康寿命の延伸と高齢者の生きがいに大きな役割を果たすことから、高齢者向けスポーツの普及を図るとともに、大会ボランティアへの参加や応援など、様々な形でスポーツ活動に参画する機会の提供が必要です。
- エ 市民がレベルの高いスポーツの試合や大会などを「みる」ことは、感動を享受するとともに、スポーツに対する関心や意欲を更に高める効果が期待でき、スポーツに苦手意識を持つ人でもスポーツを始めるきっかけにもつながることから、「みる」スポーツを更に推進する必要があります。
- オ これまで、スポーツに関する情報については広報やホームページ、チラシ等を活用して情報提供してきましたが、年齢層によっては情報を収集する目的や手段が異なることから、内容の充実とともに、多様な手段を活用した情報提供が必要となっています。
- カ 市内でスポーツの大規模な大会の開催や合宿が行われることは、交流人口の拡大や地域の活性化、地元経済への波及効果も期待できることから、引き続き、大規模な大会や合宿等の誘致に取り組みとともに、活力と魅力あるまちづくりを進める必要があります。

### (2) 競技力の向上

- ア スポーツに取り組む目的の多様化とともに、少子化の影響もあり、種目によっては競技人口の減少や指導者不足が大きな問題となっていることから、適性ある競技者・指導者を発掘し育成する一貫した体制の強化が必要です。
- イ 国民体育大会への上田市からの出場者数が減少している状況にあることから、令和10年(2028年)に長野県での開催が内定している国民体育大会・全国障害者スポーツ大会を見据え、上田市体育協会をはじめとする関係団体との連携強化を図り、ジュニアから成人まで切れ目のない強化・育成体制の充実が必要です。

### (3) スポーツにかかわる人材育成とスポーツを支える地域づくり

- ア 地域におけるスポーツの推進役として、55人の「スポーツ推進委員」がそれぞれの地域でスポーツ大会の運営や実技指導などで活動しています。今後は、各地域におけるスポーツコーディネーター（連絡調整役）としても期待されており、更なる資質の向上と活躍の場を増やしていくことが必要です。
- イ 各スポーツにおける日常的な指導や活動支援、大会等の運営など、あらゆるスポーツシーンにおいて多くのボランティアの支えが必要です。しかし、アンケート調査ではボランティア活動に参加した割合が11.8%と低いことから、様々な場面でスポーツボランティアとして活躍できる人材や環境の整備が必要となっています。
- ウ 市内に4つある総合型地域スポーツクラブについて、今回のアンケート調査では61.5%が「知らない」と回答しており、今後、総合型地域スポーツクラブの活動内容を知ってもらうための広報活動や新たな会員獲得を積極的に進めるなど、各クラブの充実を図る必要があります。

### (4) スポーツ施設の整備

- ア 上田市では数多くのスポーツ施設を保有していますが、建設から30年以上経過している施設も数多くあることから、今後は市民ニーズを踏まえ、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、老朽化対策とともにトップレベルの試合も誘致できる施設整備が必要です。
- イ 土日や祝日、平日の夜間は比較的高い利用状況ですが、平日の昼間は利用が少ない施設も散見されることから、更なる利用促進につなげることが必要です。
- ウ これまで、スポーツ施設利用者の利便性向上を図るため公共施設予約システムの構築や施設の開場日数の拡大などに取り組んできましたが、引き続き民間活力導入やICTの活用、デジタル化の推進などスポーツ施設利用者のサービス向上や行政事務の効率化、経費節減に向けた取組が必要です。

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

スポーツは、子どもや青少年の健全育成や体力向上のほか、人々が健康で活力ある豊かな生活に欠かすことのできない重要な役割を担っています。

また、超高齢社会における健康寿命の延伸はもとより、スポーツによる世代間交流や地域間交流の促進及び地域コミュニティの活性化が期待されます。

更に近年では、子どもから高齢者、障がいのある方、外国人等、個性やライフスタイルに応じて、だれでも自分の体力や身体能力に適したスポーツを日常的に楽しめる機会の充実が求められており、市民のだれもが、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境を整備することが重要になっています。

加えて、令和3年（2021年）に延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」、令和10年（2028年）に本県において予定される「第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会」の開催などを契機に、今後、市民のスポーツへの関心はますます高まることが考えられます。

こうしたことを背景に、前計画を引き継ぎ、国及び長野県の計画を参酌するとともに、上田市の上位計画である「第二次上田市総合計画」及び現状の課題を踏まえ、基本理念を以下のように設定します。

#### 基本理念

## 「生涯スポーツ社会」の実現

～ だれもが いつまでも スポーツに親しむことができる まちづくり～

## 2 基本目標

本計画の基本理念の実現に向け、上田市におけるスポーツ環境の課題や今後取り組むべき施策を念頭に次の4つの基本目標を設定し、上田市のスポーツ施策を推進していきます。

### (1) 生涯スポーツの振興

市民が生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を営む基盤として、障がいの有無にかかわらず、子どもから高齢者まで、だれもが気軽にスポーツに親しむことができるよう、市民の様々なライフステージやライフスタイルに応じたスポーツプログラムの展開、充実を図ります。

### (2) 競技力の向上

競技力の向上により地元選手が世界や全国を舞台に活躍することは、市民にとって誇りであり、元気や勇気、そして感動を与えてくれるとともに、市民がスポーツを行う強い動機となり、スポーツによる地域の活性化にもつながります。

スポーツ関係団体との連携や選手強化等への支援などにより、競技力の向上に努めるとともに、各種スポーツイベントの開催を通して、競技スポーツへの関心を高め、競技人口の拡大を図ります。

### (3) スポーツ施設の整備

市民に快適なスポーツ環境を提供するため、「上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画」に基づき、老朽化したスポーツ施設や設備の改修などに計画的に取り組めます。

スポーツ施設の効果的な管理・運営方法を検討し、市民が安心して気軽に活用できる環境を整備することでスポーツ施設の利用促進を図ります。

### (4) スポーツを通じた地域づくりと交流拡大

スポーツは、人を健康にし、元気づけるとともに、人や団体、地域など、様々な要素を結びつける力を持っています。地域スポーツを積極的に推進し、スポーツを通じた世代間交流や地域活性化を図り、「ひとづくり」、「まちづくり」、「生きがいづくり」につなげます。

各種競技の合宿や県内外から選手が参加する大規模な大会を積極的に誘致・開催し、自然や環境、歴史など、上田市ならではの付加価値・観光資源などと結び付け、交流人口の拡大や地域の活性化を図り、地域産業への経済効果を高めます。

### 3 4つの視点

上田市におけるスポーツ環境の課題を解決し、基本理念を実現するためには、今後の方向性を示し、施策を展開していくことが重要です。

本計画では、国の「第2期スポーツ基本計画」に盛り込まれた、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」という視点に、市独自の「つながる」という視点を加え、先に掲げた基本目標を実現するための施策を「4つの視点」に位置づけることとします。

4つの視点に立脚した施策により、スポーツ活動に参画する市民の増加を図るとともに、市民・地域・スポーツ関係団体・学校・行政等が一体となってスポーツ活動の推進に取り組んでまいります。

#### (1) スポーツを「する」

子どもから高齢者、障がいの有無にかかわらず、初心者から上級者まで、様々なレベルやライフスタイルの市民が主体的に、自らの身体を動かす施策に係る視点。

#### (2) スポーツを「みる」

イベントやスポーツ観戦を通じて、スポーツに接し、スポーツの魅力を感じる施策に係る視点。

国内外のトップレベルの大会や試合など、スポーツ観戦を通じて、スポーツの魅力を感じることで、スポーツを「する」「ささえる」動機づけにもつながると考えます。

#### (3) スポーツを「ささえる」

スポーツの指導・運営などへの参加、スポーツ活動を支える人材の育成や地域のスポーツ団体の活動を側面から支援、スポーツ施設の整備など、スポーツ活動の環境整備に関する施策に係る視点。

「ささえる」活動は、スポーツ推進に欠かせないものであり、スポーツを「する」人と共に喜びや達成感を得られる機会にもつながると考えます。

#### (4) スポーツで「つながる」

スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」活動を通じて、様々な要素と連携・協働する施策に係る視点。

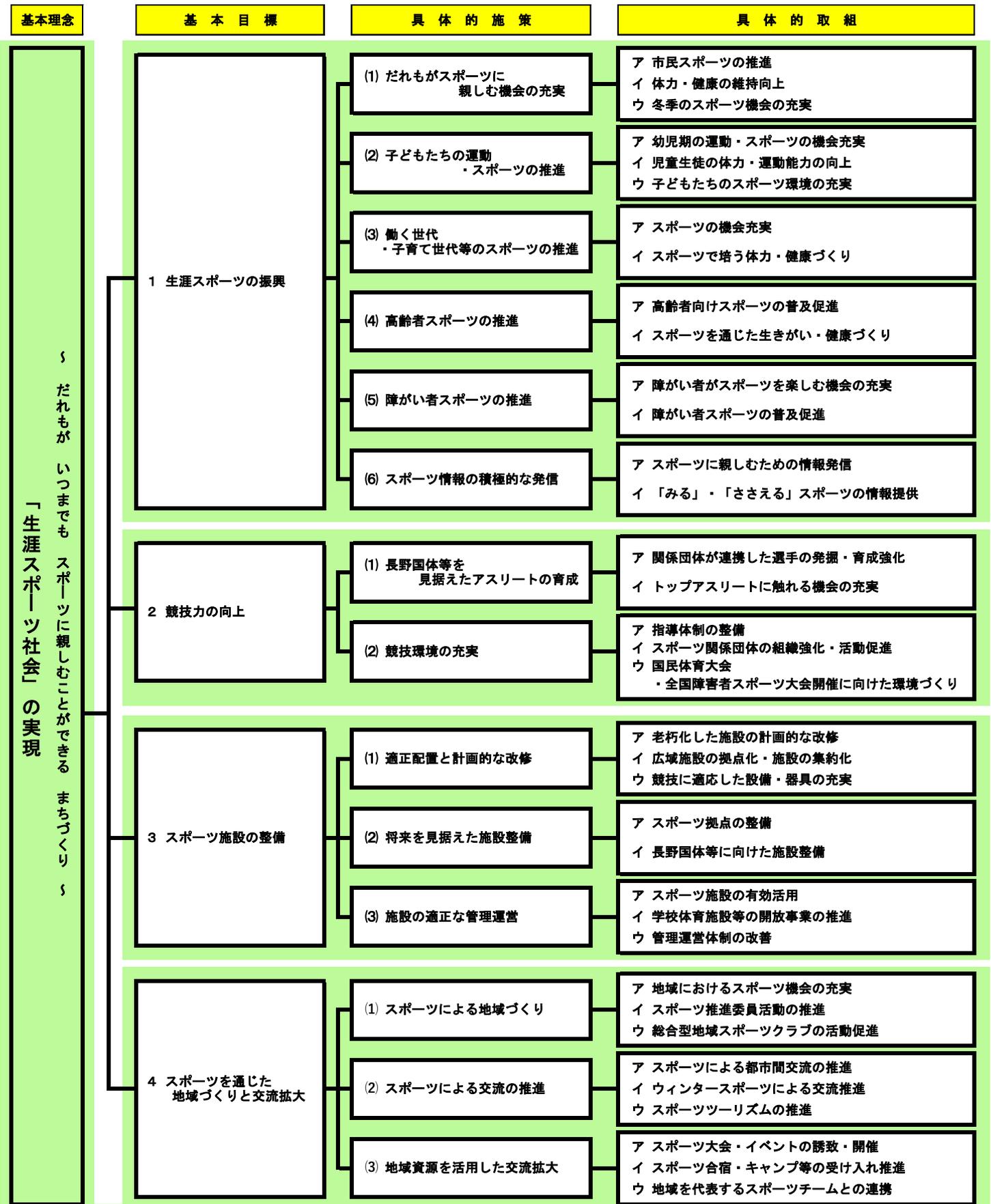
スポーツによる市民の交流や地域の絆を深め、地域コミュニティの醸成を図り地域の活性化や地域振興に「つながる」ことや、トップレベルのチームや選手の招へいを通じてスポーツ機運の醸成に「つながる」など、スポーツは地域や世代を超えて、市民が「つながる」重要な要素であると考えます。

#### 4 数値目標

第二次上田市スポーツ推進計画の基本理念である『「生涯スポーツ社会」の実現』を目指し、その達成度を示す指標として、数値目標を以下のとおり設定します。

指標の内容	基準値	計画目標 (令和7年度)
スポーツ環境が整っていると感じている市民の割合	7.9% (令和2年度)	30.0%
成人のスポーツ実施率(週1日以上)	47.1% (令和2年度)	65%
スポーツ競技国際大会等出場奨励金の交付件数	36件 (令和元年度)	50件
スポーツ施設の利用者数	1,264,301人 (令和元年度)	1,300,000人
総合型地域スポーツクラブの会員数	2,091人 (令和元年度)	2,200人
1年間に競技場等、直接現地でスポーツを観戦した市民の割合	27.5% (令和2年度)	40%

5 第二次上田市スポーツ推進計画の体系図



## 第4章 具体的な施策

### 基本目標 1

### 生涯スポーツの振興

#### ◇ 具体的施策 ◇

#### (1) だれもがスポーツに親しむ機会の充実

市民ニーズを踏まえた多様なスポーツイベントを開催・支援し、性別や年齢、障がいの有無、地域などの違いを越えた人と人のつながりや交流を生み出し、地域コミュニティの活性化を促すとともに、スポーツを通じて生涯にわたり幸福で豊かな生活を営むため、市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる機会の充実に取り組みます。

#### 具体的取組

#### ア 市民スポーツの推進 《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》

- ◇ 上田市体育協会や総合型地域スポーツクラブ等と連携して多様なスポーツに親しむ機会を提供し、生涯にわたるスポーツの習慣化を推進します。
- ◇ 多くの市民が参加でき、交流が図られ、体力・健康づくりに寄与するスポーツ活動の動機づけや継続を促す、多様なイベントや教室を開催・支援します。
- ◇ スポーツ人口を拡大し、全市的なスポーツの推進に向け、市民のスポーツ活動を支える指導者の確保・育成とスポーツ推進委員の活動推進を図ります。
- ◇ スポーツへの関心が高まり、スポーツの魅力が伝わる「みる」スポーツイベントや競技会等の開催を支援します。
- ◇ 大会やイベントの運営を支える市民ボランティアの育成に努め、スポーツボランティアとして参加することを通して、市民同士や選手、観客の皆さん等との交流につなげるとともに、市民が「ささえる」スポーツを始める機会となるよう取り組みます。

#### 具体的取組

#### イ 体力・健康の維持向上 《「する」》

- ◇ 市民が心身ともに健康で豊かな日常生活を送るため、日頃から手軽に親しむことのできるウォーキングなど、身近な場所で簡単にできるスポーツを促進します。
- ◇ 体力測定会等を実施し、自身の体力・健康状態を把握することを通して、スポーツ活動と健康づくり、生活習慣病の予防への意識づけを高めます。
- ◇ スポーツにだれもが取り組めるよう、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等（上田市体育協会、総合型地域スポーツクラブ等）と連携し、個人の体力や生活のリズムに合わせて気軽に取り組めるレクリエーションプログラムやニュースポーツの普及促進を図り、体力や健康の保持増進に取り組みます。

**具体的取組****ウ 冬季のスポーツ機会の充実 《「する」》**

- ◇ 運動不足になりがちな、冬季の体力増進と健康維持に向け、気軽に楽しくスポーツをする機会を提供します。
- ◇ 市内に菅平高原や番所ヶ原などのスキー場を有する地域特性を生かし、スキーやスノーボードなどウィンタースポーツに親しむ機会の充実を図り、運動不足になりがちな冬季間における体力の維持向上に努めます。
- ◇ 生涯にわたりウィンタースポーツに親しむきっかけとなるよう、小中学校や各地域での初心者や初級者向け教室の開催など、体験する機会の充実を図ります。
- ◇ ウィンタースポーツの習慣化を図るため、市民のニーズやレベルに沿ったイベントや教室など、ウィンタースポーツをする機会の提供に努めます。

## (2) 子どもたちの運動・スポーツの推進

子どもたちがスポーツを好きになり、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけをつくとともに、体力・運動能力の向上が図られるよう、家庭・地域・学校等が連携・協働し、子どもたちのスポーツ活動の推進に努めます。

<b>具体的取組</b>	<b>ア 幼児期の運動・スポーツの機会充実</b> <u>《「する」・「ささえる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 保育園・幼稚園・認定こども園等やスポーツ関係団体などと連携し、親子で気軽に楽しめる運動遊びやスポーツ体験などを通して、子どもたちの運動習慣づけや体力づくりを図ります。</li> <li>◇ 幼児期から様々な機会を通して、身体を動かすことの重要性を保護者に理解してもらえるよう啓発に努めます。</li> <li>◇ 子どもたちにスポーツの楽しさを伝える指導者を、スポーツ関係団体と連携・協働して発掘し、育成する体制を整備します。</li> </ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>イ 児童生徒の体力・運動能力の向上</b> <u>《「する」・「ささえる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校やスポーツ関係団体等と連携し、学校体育や運動部活動、スポーツクラブなどでの活動を通して児童生徒の体力・運動能力の向上のための取組を強力に推進します。</li> <li>◇ 子どもたちの体力・運動能力の向上を図るため、上田市体育協会・スポーツ少年団やスポーツ教室、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、子どもの頃からいろいろな運動やスポーツにチャレンジできる環境整備に取り組みます。</li> <li>◇ 学校における運動部活動の充実を図るため、専門的な知識・技能を有するスポーツ指導員や部活動指導員の派遣など、地域の人材を積極的に活用する取組を推進します。</li> </ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>ウ 子どもたちのスポーツ環境の充実</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ スポーツ関係団体と連携し、スポーツに対する苦手意識のある子どもも気軽に参加でき、身体を動かす楽しさや様々な種目を体験できるスポーツ教室、イベント等を開催し、スポーツに親しむ機会や環境づくりに取り組みます。</li> <li>◇ 子どもたちがスポーツに対する親しみや関心を持ち、スポーツ活動への動機づけを図るため、トップアスリートを直接見ることや、触れ合うことのできる取組を積極的に推進します。</li> <li>◇ 医療機関やスポーツ関係団体等と連携し、過重な運動による事故や障害を防止するための取組や学習機会の提供に努めます。</li> </ul>	

### (3) 働く世代・子育て世代等のスポーツの推進

学生・働く世代・子育て世代は、ライフステージの変化（就職、結婚、育児、介護等）に伴い、忙しさなどからスポーツをする機会が少なくなりがちです。

スポーツは、体力の維持向上や生活習慣病の予防、ストレスの解消など、明るく元気な生活を送るための重要な役割を持つことから、それぞれの体力や健康状態、個々の生活状況などに応じてスポーツに取り組める環境づくりを進めます。

#### 具体的取組

#### ア スポーツの機会充実 《「する」》

- ◇ 市民一人ひとりのライフステージやニーズに応じて、主体的に継続してスポーツ活動に参加し、親しむことができる機会の充実を図ります。
- ◇ 日頃スポーツに接しない市民も気軽にスポーツを楽しめるよう、だれもが参加できる初心者向けのスポーツ教室やレクリエーションプログラム、ニュースポーツなどのイベントなどを開催し、スポーツをする機会づくりに努めます。
- ◇ 学校や仕事の帰り、休日、家事・育児・介護などの合間を活用した運動や、家庭など身近な場所でできる運動を推進します。

#### 具体的取組

#### イ スポーツで培う体力・健康づくり 《「する」》

- ◇ 身近な場所で手軽にできる市民のニーズが高かったウォーキングや上田市オリジナルの「信濃の国 上田 健康体操」の普及を図り、体力の維持向上や健康づくりに取り組みます。
- ◇ 自分の健康状態や運動能力を把握する機会を設け、自己の健康管理意識の高揚を図るとともに、スポーツによる事故やけがの未然防止に努めます。
- ◇ スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等と連携し、気軽に取り組めるレクリエーションプログラムやニュースポーツの普及促進を図り、スポーツの面白さ、楽しさを伝えます。

#### (4) 高齢者スポーツの推進

超高齢社会を迎え、高齢者にとってのスポーツ活動は、体力の維持向上や健康づくり、生きがいにつながるなど、大変重要な役割を果たします。

上田市では、今後、更なる老年人口の増加が予想されることから、高齢者の体力や健康の維持増進を図り、健康寿命を延伸するため、高齢者のスポーツ活動の充実に取り組みます。

<b>具体的取組</b>	<b>ア 高齢者向けスポーツの普及促進 《「する」・「つながる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 心身ともに健康で豊かな日常生活を送るため、身近な場所で手軽にでき、市民ニーズの高いウォーキングや上田市オリジナルの「信濃の国 上田 健康体操」の普及を図り、体力や健康の保持増進、仲間との交流や生きがいづくりを推進します。</li><li>◇ スポーツ推進委員やスポーツ関係団体等と連携して高齢者でも気軽に取り組めるレクリエーションプログラムやニュースポーツの普及を促進し、健康寿命の延伸を図ります。</li></ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>イ スポーツを通じた生きがい・健康づくり 《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 高齢者が自らスポーツを「する」だけでなく、選手の応援や大会ボランティアへの参加など、「みる」・「ささえる」スポーツへの興味・関心を喚起する取組の充実を図り、スポーツ活動を通じた社会参加を推進します。</li><li>◇ 福祉関係団体等との連携を図りながら、高齢者のニーズに対応したスポーツを推進し、生活習慣病の予防や介護予防につなげます。</li><li>◇ スポーツや健康に関心な高齢者を対象に、体力測定会などを活用しながら、継続したスポーツ活動の推進と健康づくりに対する意識を高めます。</li></ul>	

## (5) 障がい者スポーツの推進

障がい者のスポーツ活動は、運動機能の維持向上や健康増進だけでなく、自主的な社会参加を促進し、生きがいのある生活を送るために重要です。

障がい者が多くの人々と交流を持ち、積極的にスポーツに取り組む機会や環境づくりを推進し、スポーツをする機会の充実を図ります。

また、障がい者スポーツに対する理解を深めるため、観戦や体験する機会を設け、興味関心を喚起する取組の充実を図ります。

具体的取組	ア 障がい者がスポーツを楽しむ機会の充実 《「する」・「ささえる」・「つながる」》
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 障がいの種別や程度などに応じた適切な配慮を行いながら、障がい者がスポーツに親しみ、気軽に参加できる環境の整備を推進し、障がい者がスポーツを楽しむ機会の充実を図ります。</li><li>◇ 障がいの有無や年齢、性別にかかわらず、だれもが快適に、安全で安心して利用できるよう、ユニバーサルデザイン化によるスポーツ環境の整備を推進します。</li><li>◇ 障がい者が介助者なく、一人でもスポーツ施設を利用できるよう、受入体制の充実に努めます。</li><li>◇ 障がい者と健常者が一緒になって楽しめるようなレクリエーションプログラムやニュースポーツの普及を図り、共生社会の実現に努めます。</li><li>◇ 広報やホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する情報提供の充実に努めます。</li></ul>	

具体的取組	イ 障がい者スポーツの普及促進 《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 市民が障がい者スポーツを見ることや、体験するイベントや教室等の開催を通して、障がい者と健常者の交流や相互理解、障がい者スポーツの普及促進を図ります。</li><li>◇ スポーツ推進委員や関係団体と連携し、指導者やサポートスタッフなど、障がい者スポーツを支える人材の育成や継続的な人材の発掘と確保を図ります。</li></ul>	

## (6) スポーツ情報の積極的な発信

スポーツへのかかわり方が多様化する中、一人でも多くの市民がスポーツ活動への参加意欲や興味・関心を抱くきっかけとなるよう、市民が求めるスポーツや健康づくりに関する情報を効率的に収集し、幅広く効果的な方法で積極的な発信に努めます。

<b>具体的取組</b>	<b>ア スポーツに親しむための情報発信 《「する」・「みる」・「ささえる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ スポーツに関する身近できめ細かな情報の積極的な発信に努めます。</li> <li>◇ 「スポーツができる場所や施設に関する情報」の充実を図ります。</li> <li>◇ スポーツ団体やスポーツ医・科学等の専門分野と連携し、スポーツの価値や効果、効用などとともに運動の方法などの情報発信を充実させ、スポーツが身近なものとなるよう啓発に努めます。</li> <li>◇ 上田市体育協会や総合型地域スポーツクラブなど、各地域で活動するスポーツ団体の情報発信を支援・協力することで、市民のスポーツ活動への参加機会の拡大と、各団体の活動の活性化を図ります。</li> </ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>イ 「みる」・「ささえる」スポーツの情報提供 《「みる」・「ささえる」・「つながる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市民に対して、現地会場・テレビ・インターネット等によるスポーツ観戦や応援のための情報提供に努め、「みる」スポーツの推進を図ります。</li> <li>◇ 大会やイベントの運営等に関わるスポーツボランティアに参加するための情報発信に積極的に取り組み、「ささえる」スポーツを促進する環境を整備します。</li> <li>◇ 上田市出身のアスリートの活躍や参加する大会等の情報を積極的に発信し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市を挙げて応援する機運の醸成を図ります。</li> </ul>	

## 基本目標 2

## 競技力の向上

### ◇ 具体的施策 ◇

#### (1) 長野国体等を見据えたアスリートの育成

令和10年(2028年)に長野県での開催が予定される国民体育大会・全国障害者スポーツ大会等を契機として、上田市出身の選手が世界や全国を舞台に活躍することで、市民に夢と感動を与え、市民が誇れるまちを実現するため、上田市体育協会をはじめとするスポーツ関係団体と連携しながら、国際大会や全国大会を目指すアスリートの発掘と育成・強化に努めます。

#### 具体的取組

#### ア 関係団体が連携した選手の発掘・育成強化 《「する」・「ささえる」》

- ◇ 子どもたちが多様な種目を体験するなど、スポーツへの興味や適性を見出せる機会を設けることを通して、競技人口の拡大や発育・発達段階に応じた競技力の向上に努めます。
- ◇ 長野国体を見据え、上田市が会場となる競技やバレーボール競技などについて、上田市体育協会を中心にスポーツ関係団体が連携・協力し、役割を分担する中で、ジュニアから成人まで切れ目のない、強化・育成体制の充実を図ります。

#### 具体的取組

#### イ トップアスリートに触れる機会の充実 《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》

- ◇ トップレベルの試合や合宿等の誘致を更に推進し、プレーを間近で見ることや交流など、トップアスリートに触れる機会の充実を図ることを通して競技力の向上につなげます。
- ◇ 合宿で訪れる実業団などのチームと連携し、チームや指導者によるスポーツ教室やクリニックなどを開催し、競技に取り組む意欲を喚起するとともに競技力の向上を図ります。
- ◇ 「菅平高原パインビークスキー場」がナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定されたことから、訪れる国内トップレベルの競技者・指導者のトレーニングや指導方法などを身近に見て・感じることを通じ、市内の競技者や指導者のレベルアップに取り組みます。

## (2) 競技環境の充実

アスリートの競技力を効果的に向上させ、最大限に引き出すため、指導・支援体制の充実など、スポーツ関係団体と行政が一体となって多様な競技スポーツを推進するための環境整備を推進します。

具体的取組	<b>ア 指導体制の整備</b> <u>《「ささえる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ スポーツ関係団体との連携を深め、指導者や審判員などの資質向上や人材確保に向け、研修会や講習会等の開催に取り組みます。</li> <li>◇ スポーツドクターやスポーツ医・科学分野の専門家と連携し、最新のスポーツ医・科学情報やデータの活用方法などを取り入れた指導技術の講習会や研修会等を実施し、指導力の向上を図ります。</li> <li>◇ 各競技団体等と連携し、高い技術や指導力を持つ人材を選手の育成現場に派遣するなど、指導体制の充実を図り競技力の向上に取り組みます。</li> </ul>	

具体的取組	<b>イ スポーツ関係団体の組織強化・活動促進</b> <u>《「ささえる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 競技スポーツ推進の中核を担う上田市体育協会や総合型地域スポーツクラブのより一層の組織強化を図るとともに、加盟する競技団体やクラブの活動が促進され、競技人口の拡大が図られるよう取組を支援します。</li> <li>◇ 個人や団体がスポーツ競技の国際大会や全国大会に出場する際、奨励金を交付する財政支援を継続し、競技環境の一層の充実に努めます。</li> <li>◇ 全国大会などの大舞台で優秀な成績を収めた選手や団体の功績をたたえる「市長表彰」を継続し、選手の競技意欲の高揚とともに、市民のスポーツに対する興味や関心の喚起を図ります。</li> </ul>	

具体的取組	<b>ウ 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた環境づくり</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に係る情報を積極的に発信し、市民の認知度向上や開催機運の醸成を図ります。</li> <li>◇ 長野県やスポーツ関係団体等と連携し、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の運営支援体制の構築など、両大会の受入準備を着実に進めます。</li> </ul>	

## 基本目標 3

## スポーツ施設の整備

### ◇ 具体的施策 ◇

#### (1) 適正配置と計画的な改修

上田市には多くのスポーツ施設が設置されており、同様な施設の点在や建設後 30 年以上が経過し老朽化が進むなど、施設が抱える課題も増加しています。市民のだれもが利用しやすく、安全で快適なスポーツ環境を確保するため、施設の適正配置と計画的な改修による機能の充実を図ります。

#### 具体的取組 ア 老朽化した施設の計画的な改修 《「する」・「みる」・「ささえる」》

- ◇ 老朽化が進む既存のスポーツ施設については、「上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画」に基づき、長期的な視野に立脚し、持続可能な施設となるよう、計画的な整備に取り組みます。
- ◇ だれもが快適に、安全で安心して利用できるよう、適正な競技環境の整備とユニバーサルデザイン化を推進します。

#### 具体的取組 イ 広域施設の拠点化・施設の集約化 《「する」・「みる」・「ささえる」》

- ◇ 将来にわたりスポーツ施設を維持していくため、現在ある比較的規模の大きな施設を中心に老朽化した施設を移転・集約し、複合拠点化した総合スポーツゾーンの整備を検討します。
- ◇ 施設の保有総数の適正化に向け、機能集約による施設の複合化や再整備等における規模の適正化についても検討を進めます。
- ◇ 上田市の将来人口推計も勘案し、持続可能な施設数への集約を検討します。

#### 具体的取組 ウ 競技に適応した設備・器具の充実 《「する」・「ささえる」》

- ◇ 各種目の実施や競技力向上に適応した設備・器具の充実を図るとともに、定期的な点検と適切な管理を実施し、利用者の安全に配慮します。

## (2) 将来を見据えた施設整備

上田市のスポーツ活動の拠点となる施設整備を早期に推進し、競技力の向上に資するとともに、市民の多様化するスポーツニーズに応え、将来にわたりスポーツ活動に親しむことができるよう環境整備に取り組みます。

<b>具体的取組</b>	<b>ア スポーツ拠点の整備</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」》</u>
--------------	--

- |   |  |
|---|--|
| ◇ 上田市のスポーツ拠点となる上田城跡公園体育館及び第二体育館は、著しく老朽化が進んでいることから、「上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画」に基づき、早期に公園外への移転整備を推進し、市民の日常的なスポーツ活動とともに、県や国レベルの大会、スポーツイベント等の開催など、積極的な活用を図ります。 |  |
|---|--|

<b>具体的取組</b>	<b>イ 長野国体等に向けた施設整備</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」》</u>
--------------	--

- |   |  |
|---|--|
| ◇ 令和10年(2028年)に長野県での開催が内定している国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向け、「上田市新テニスコート整備基本構想」に基づく、古戦場公園周辺へのテニスコートの移転・集約の取組を推進します。 |  |
| ◇ 長野県やスポーツ関係団体等と連携し、上田市が会場に内定している国民体育大会のラグビー・軟式野球・ハンドボール競技等の施設整備を着実に進めます。                                 |  |

### (3) 施設の適正な管理運営

市民の誰もが利用しやすい環境の確保とスポーツ施設の利用促進を図るため、利用者のニーズや利用状況、地域特性等に応じた管理運営体制や手法を検討するとともに、効率的で効果的な施設の管理運営に取り組みます。

<b>具体的取組</b>	<b>ア スポーツ施設の有効活用 《「する」・「ささえる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 利用頻度が低い平日昼間を活用してスポーツ教室を開催するなど、スポーツ関係団体と連携してスポーツ施設の効率的な運用を図ります。</li><li>◇ 各スポーツ施設間において規模や立地等、各施設の役割分担を踏まえた上で、それぞれの利用促進を図り、誰もが身近でスポーツに親しむことができる交流の場の拡大に努めます。</li></ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>イ 学校体育施設等の開放事業の推進 《「する」・「ささえる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 市内小中学校の体育館や運動場は、地域住民が身近に利用できるスポーツ活動の場であることから、周辺環境等に配慮しながら、更なる利用促進を図り、スポーツに触れる機会の拡大に努めます。</li><li>◇ 学校体育施設の改修に当たっては、地域のスポーツニーズに配慮した施設整備に取り組みます。</li></ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>ウ 管理運営体制の改善 《「する」・「ささえる」》</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 直営で管理運営されているスポーツ施設について、指定管理者制度や民間への業務委託の推進、利用者や地域と連携した管理運営により、利用者サービスの向上と行政コストの削減を図ります。</li><li>◇ 市民やスポーツ団体等の利用状況やニーズ、施設の立地条件などを踏まえて、必要に応じて利用日や利用時間、使用料金体系と減免制度、施設の利用申し込み方法などについて柔軟に見直し、改善することで、利用しやすい施設運営に努めます。</li><li>◇ 市民がパソコンやスマートフォン等を利用し、手軽にスポーツ施設の空き状況の確認や予約ができる、インターネットを活用した「上田市公共施設予約システム」の機能充実と利用促進に取り組みます。</li></ul>	

## 基本目標 4

## スポーツを通じた地域づくりと交流拡大

### ◇ 具体的施策 ◇

#### (1) スポーツによる地域づくり

地域におけるスポーツ活動は、体力・健康づくりだけでなく、地域住民の交流を深め、地域の一体感の醸成や強化にも寄与することから、市民が身近な場所でいつでも参加できるスポーツ環境を整備し、明るく豊かで活力ある地域の形成に取り組みます。

#### 具体的取組 ア 地域におけるスポーツ機会の充実 《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》

- ◇ 市民ニーズを把握しながら、世代や性別に応じたイベントを開催するなど、より多くの地域住民が参加できる取組を推進し、地域の活性化を促進します。
- ◇ 自治会や公民館等が実施する、身近なスポーツ活動を推進・支援します。
- ◇ 市民総合体育大会の競技種目を増やすなど、更なる充実を図ります。

#### 具体的取組 イ スポーツ推進委員活動の推進 《「する」・「ささえる」・「つながる」》

- ◇ スポーツ推進委員の資質向上のために研修会等を実施します。
- ◇ スポーツ推進委員が中心となって、だれもが気軽に楽しめるニュースポーツの普及に努めます。
- ◇ 上田市体育協会や総合型地域スポーツクラブ、学校、自治会や育成会などのスポーツ事業への参画・支援とともに、地域内におけるスポーツコーディネーターとしての役割に取り組みます。
- ◇ スポーツ推進委員の役割や活動内容などについて市民へ情報提供を行い、広く周知を図ります。

#### 具体的取組 ウ 総合型地域スポーツクラブの活動促進 《「する」・「ささえる」・「つながる」》

- ◇ 総合型地域スポーツクラブの活動状況などの情報を多様な方法で発信し、地域における認知度を高め、クラブへの加入促進を図ります。
- ◇ 教室・サークルなどを開催するための活動場所の確保を支援します。
- ◇ クラブの安定的な財源確保のため、各種委託事業の実施に努めます。
- ◇ クラブの継続的な活動に向けて、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活動を支援します。

## (2) スポーツによる交流の推進

スポーツは世代や性別、住む地域などの違いを越えた、人と人とのつながりや交流を生み出すことから、積極的にスポーツによる人や地域が交流する機会を設け、地域の活性化や明るいまちづくりを推進します。

<b>具体的取組</b>	<b>ア スポーツによる都市間交流の推進</b> <u>《「する」・「みる」・「つながる」》</u>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 国内外の姉妹都市等（鎌倉市・上越市・豊岡市・九度山町・練馬区・寧波市・ブルームフィールド市郡・ダボス町）とのスポーツ大会やイベントなどの開催により、都市間交流を推進する機会の充実を図ります。</li> <li>◇ ラグビーワールドカップ 2019 日本大会のトレーニングキャンプを契機に、つながりができたイタリア共和国とスポーツや文化、芸術など、さまざまな分野での交流推進を図ります。</li> </ul>

<b>具体的取組</b>	<b>イ ウィンタースポーツによる交流促進</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</u>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市内のスキー場や関係団体と連携・協力し、スキーやスノーボードなどウィンタースポーツの活用による交流促進に努めます。</li> <li>◇ 菅平シュナイダー記念スキー大会やFIS 菅平高原マックアースパインビークカップなど、既存のスキー大会の継続と発展を支援するとともに、「長野県スキー大会週間」など大会誘致に関係団体と連携して取り組み、交流の拡大を図ります。</li> </ul>

<b>具体的取組</b>	<b>ウ スポーツツーリズムの推進</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</u>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 上田市の豊富なスポーツ資源を最大限に生かし、スポーツを「する」・「みる」だけでなく、周辺の観光要素やスポーツを「ささえる」人々との交流を付加した「スポーツツーリズム」を推進し、新しい地域の魅力を作り出し、交流人口の増加を図ります。</li> </ul>

### (3) 地域資源を活用した交流拡大

上田市の豊かな自然環境や様々なスポーツ施設、培ってきた地域資源などを生かしたスポーツ大会やイベント、スポーツ合宿の誘致などにより、交流人口の拡大に向けた取組を展開します。

<b>具体的取組</b>	<b>ア スポーツ大会・イベントの誘致・開催</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 菅平高原の数多くのスポーツ施設や整備を予定する古戦場公園テニスコートなど、市内のスポーツ資源を活用して全国大会など大規模なスポーツやレクリエーションの大会、イベントの誘致・開催を推進するとともに、既存の大会やイベントの充実を図り、市内外の交流拡大に努めます。</li><li>◇ スカイライントレイル菅平や太郎山登山競争、信州爆水RUN in 依田川など、上田市の豊かな自然環境を生かした様々なスポーツ大会やイベントの開催支援、新たな大会・イベントの企画や誘致への取組を通して、市の特色や魅力を広く発信するとともに、交流人口の拡大に努めます。</li></ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>イ スポーツ合宿・キャンプ等の受け入れ推進</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 地域のスポーツ資源を活用したスポーツ合宿やキャンプ等の誘致を積極的に推進し、交流人口の拡大とともに、地域経済の活性化や活力ある地域づくりにつなげます。</li><li>◇ ウィンタースポーツの合宿やキャンプ、スキー学習旅行・修学旅行などの受入も、地域経済への貢献度は大きく、活性化にも大いに寄与していることから、引き続き、積極的に取り組みます。</li><li>◇ 年間を通したスポーツ合宿・キャンプ等の受入環境については、競技者や指導者等のニーズを踏まえて、関係団体と連携を図りながら、更に充実が図られるよう取り組みます。</li></ul>	

<b>具体的取組</b>	<b>ウ 地域を代表するスポーツチームとの連携</b> <u>《「する」・「みる」・「ささえる」・「つながる」》</u>
<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 上田市を活動拠点とするスポーツチームと連携して、ホームゲームでの応援や観戦などを通して市民の「みる」スポーツの定着を図るとともに、スポーツを活用した交流の拡大に努めます。</li><li>◇ 地元スポーツチームをより効果的に支援するため、商工団体やスポーツ団体、市民、行政等が連携し、ホームゲーム来場者の拡大に努めるとともに、チームと連携した広報活動の強化に取り組みます。</li><li>◇ 市民が地元スポーツチームに愛着を持てるよう、選手による競技指導など、スポーツを通じたチームと市民との交流や地域貢献活動への協力を努めます。</li></ul>	

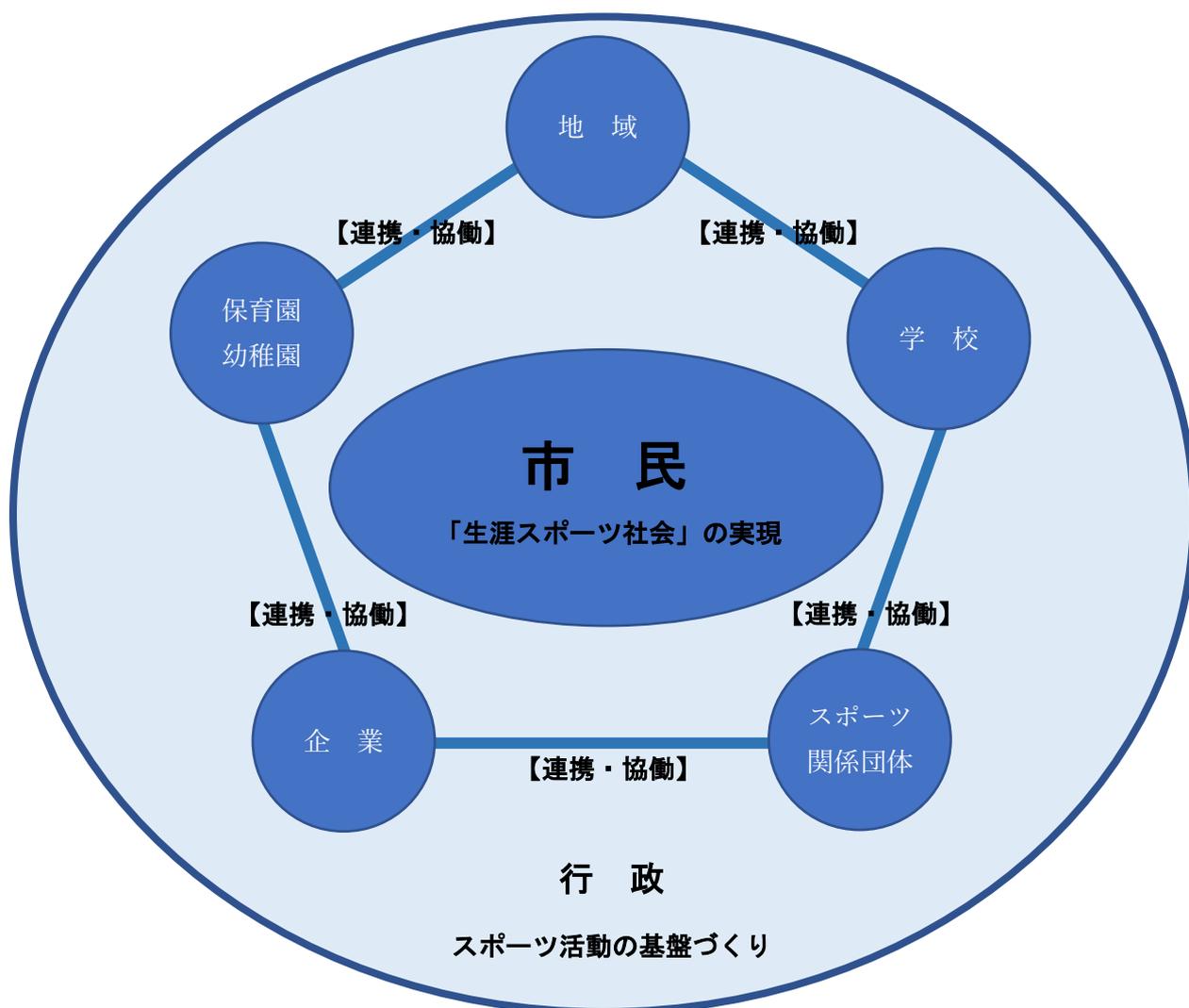
## 第5章 計画の推進

### 1 連携・協働による推進体制

本計画の基本理念である「『生涯スポーツ社会』の実現」を具現化するためには、行政やスポーツ関係団体、学校、企業等の関係団体がスポーツ推進の重要性を認識し、互いに連携・協働しながら、自主的・主体的な取組を進めていくことが期待されます。

市民の誰もが生涯にわたりスポーツに親しみ、地域での住民同士の交流が図ることができるよう、市民はもちろんのこと、地域、スポーツ関係団体、学校、行政等が連携・協働して計画を推進していきます。

#### ◆ 連携・協働による推進体制



## ◆ 推進体制における役割

主 体		役 割
市 民	個人・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主的・主体的に継続してスポーツにかかわる。</li> </ul>
地 域	自治会 ・ 育成会等の団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の特性を生かしたスポーツ活動を行い、住民がスポーツをするきっかけづくりと健康づくりを進める。</li> <li>・ 他団体と連携・協働を図り、地域でのスポーツ活動の充実を図る。</li> </ul>
スポーツ 関係団体	(一財) 上田市体育協会 ・ 上田市スポーツ少年団 ・ 総合型地域スポーツクラブ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ推進の担い手として、市民がスポーツをする機会の拡充を図る。</li> <li>・ 他団体と連携・協働して、参加者のレベルやニーズに合わせたスポーツを実施し、スポーツ振興を図る。</li> </ul>
保育園 幼稚園	保育園・幼稚園 ・ 認定こども園等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動遊びなどを通して、スポーツに触れる機会を提供し、スポーツに親しむきっかけづくりを推進する。</li> <li>・ 遊びながら身体を動かす楽しさを子どもたちや保護者に伝え、体力・運動能力の基礎づくりに努める。</li> </ul>
学 校	小中学校・高校 ・ 大学等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びや学習体験を通じ、スポーツが好きな子どもを増やし、体力・運動能力の向上を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりを推進する。</li> <li>・ 部活動の充実により、競技能力の向上を図る。</li> </ul>
企 業	民間企業・事業所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ関係団体や行政との連携・協働により、スポーツをする機会や場を市民に提供する。</li> <li>・ 企業の持つ施設、人材、技術、情報などの資源を地域スポーツへの活用に努める。</li> </ul>
行 政	市・県・国等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各団体と連携・協働して、市民のニーズやライフスタイルに応じたスポーツ推進を図る。</li> <li>・ 関係所管や団体等と連携を深め、よりよいサービスと情報の発信に努める。</li> </ul>

## 2 計画推進のための財源確保

本計画の推進に当たっては、安定した財源の確保が必要なことから、厳しい財政状況等を考慮し、市税のみに頼らず、国・県の補助金やスポーツ振興くじの助成制度等を活用し、財源の確保に努めます。

また、施設のネーミングライツや広告収入、ふるさと納税の活用など、あらゆる手法による新たな財源の確保にも積極的に取り組みます。

## 3 計画の進行管理

本計画を実効性あるものとするため、計画の基本目標と具体的施策・取組、目標数値の達成状況、庁内の各課が取り組む個別事業等の状況を把握する中で、施策の点検・評価による進行管理に取り組みます。

進捗状況については、定期的に公表するとともに、毎年、「上田市スポーツ推進審議会」に報告し、計画内容や今後の取組方針等について意見をいただきます。

また、本計画を推進するに当たり、社会情勢や市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、必要に応じて市民へのアンケート調査やヒアリングを行い、事業の見直しを図ります。

## 4 上田市のスポーツ推進に向けて

本計画を実行性のあるものとして、今後のスポーツ施策を着実に推進していくためには、市民一人ひとりが自主的・主体的に取り組むことはもとより、各種関係団体等と連携・協働して取り組むことが重要です。

また、近年、国内では、地震や津波、台風、集中豪雨、噴火等による大規模災害をはじめ、市民生活を脅かす様々な危険事象が発生しております。

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大は、予定されていたスポーツ大会・イベントが軒並み中止・延期となるなど、市民生活が一変し、現在も未だに収束が見通せない状況にあります。

一方で、中長期にわたり新型コロナウイルスなどの感染症と向き合う中では、身体的及び精神的な健康を維持するために、体を動かすことやスポーツを行うことがますます重要となっています。

今後は、多様化する市民ニーズや運動・スポーツ活動の実施状況を把握するとともに、本計画に掲げた基本目標・施策等に加え、「新しい生活様式」や国・県・各競技団体から示される各種方針及びガイドライン等を踏まえ、スポーツを通じた市民の体力向上・健康増進や健康寿命の延伸、地域の活性化などを総合的に推進し、第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）やその他関連計画との整合を図りながら、本計画目標の実現に向けて取り組んでまいります。